

消防年報

令和5年刊行

川越地区消防局

は じ め に

この年報は、川越地区消防局の現勢と消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この消防年報によって本消防局の現状を認識し、深くご理解いただければ幸いです。

なお、各表について、特記してあるものを除き、年中における消防業務を収録したものであります。

令和5年6月

川越地区消防局

時代のつらさ(好台地)
 心なる緑と証のあふれる
 支えあふる絆
 火災と水害の被害
 町の発展(好台地)
 再興の重み
 期待と想い
 纏と本音の
 いきいきと
 うけついで者
 海のない青春を掲げて
 風切るサイレン赤色灯
 会場の旗はゆぐ

川越地区消防組合
 消防ばら
 筒先を大空へ
 大空へ歌と

日常に競えた
 智力と科学
 結ぶ組織は自治の文化

関根 隆一 作詞
 寺島 尚彦 作曲
 虹のマーチ

虹のマーチ
 (川越地区消防組合消防歌)

作詞 関根 隆一
 作曲 寺島 尚彦

じ だ い の う ね り ひ さ し の だ い ち ひ ら が
 れ き し の お も り き た い を に な い ま と い

あ ん ど り を う た い な が ら な が れ る か ら よ
 と き や り の こ こ ろ い き を う け つ り も の よ

さ き え あ う ひ と ひ と の き ず な が て
 く い の な い せ い し ゃ ん を か か げ て

さ き え あ う ひ と ひ と の き ず な が て か せ
 く い の な い せ い し ゃ ん を か か げ て

い と ら す い が れ い
 い と ら す い が れ い み ん な く の い の ち ま

ち の と ら く し を ま た り ぬ く

く い ざ い ざ い ざ い

さ 消 防 ば く - ら 消 防 ば く -

ら い ざ い ざ い ざ い

さ つ つ さ ゃ - を お お せ ら -

へ お お せ ら - へ に じ を に じ を に じ を

ひ ご ろ に きた えた
 ひ ご ろ に きた えた ち り ゃ く と か が く む

す お そ し き は ま ち の は な

目 次

沿 革

川越地区消防組合の沿革	1～11
-------------	------

管内情勢

川越市	12
川島町	13
消防機関配置図	14～15

総 務

人口等の推移	16
消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合	16
川越地区消防組合機構図	17
消防局・消防署事務分掌	18～20
職員の配置状況	21
消防自動車の配置状況	21
基準消防力と現有消防力の比較	22
川越市・川島町予算(一般会計)消防組合予算(当初)	23
消防組合予算(当初)	23～24
消防組合予算性質別内訳(当初)	24
消防庁舎の現況	25
令和4年度主要な施設等の整備	25
職員定数・実員の推移	26
職員の年齢	27
職員の勤続年数	27
職員の採用、退職等の状況	28
職員の教養実施状況	28
消防音楽隊	29
消防相互応援協定等の状況	30～31

予 防

法令に基づく各種届出状況	32
防火・防災管理者選任(解任)届出状況	32
消防用設備等設置届出状況	33
建築物同意状況	34
用途別防火対象物数	35
防火対象物立入検査実施状況	36
防火管理資格取得者数及び再講習状況	37
広報活動の状況	37
危険物関係処理状況	38
数量別危険物製造所等施設数	39
類別危険物施設状況	40
危険物事業所・施設数の推移	41
火薬類施設状況	41
火薬類申請届出等状況	41

警 防

所属別消防車両一覧表	42
消防水利の状況	43
警防関係各種届出状況	44
事業所消防訓練派遣状況	44
中高層建築物の状況	45
火災出場の状況	46
その他出場の状況	46
現有消防機器	47

指 令

無線局一覧	48
消防通信系統図	49
通信施設の状況	50
119番受信回数	51
携帯119番受信状況	51
緊急通報システム受信状況	52
病院照会に関する記録	52
気象状況表	53

火 災

令和4年中の火災概要	54
火災の概況	55
火災件数の推移(10年間)	56
火災損害状況の推移(10年間)	57
火災による死傷者の推移(10年間)	58
地区別の出火原因	59
出火原因別火災件数の推移(10年間)	60
出火原因別火災件数	61
原因別火災発生状況	61
月別火災概況	62
月別火災件数	62
建物用途別火災件数	63
時間別火災発生件数	63
曜日別火災発生件数	63

救急・救助

令和4年中の救急・救助の概要	64
救急車の配置及び救急病院配置図	65
救急活動	
救急活動の推移(10年間)	66
月別救急活動の状況	67
事故種別傷病程度別搬送人員	68
事故種別年齢区分別搬送人員	68
署所別救急活動の状況	69
医療機関別搬送人員	70
時間別救急出場件数	70
救命講習実施状況	71
救急講習指導状況	71
救助活動	
事故種別出場件数、活動件数及び救助人員	72
事故種別発生場所別救助人員	72

消防団

消防団分団区域図	73
川越市消防団分団の名称及び受持区域	74
川島町消防団分団の名称及び受持区域	74
消防団員の実員数	75
分団別人口世帯の状況	76
消防団員の勤続年数	77
消防団員の年齢	78
消防団員の報酬等	79
分団別火災出場の状況	80
分団車庫所在地	81
消防自動車性能	82
川越市消防団専用無線設備の状況	83
川島町消防団専用無線設備の状況	84

その他

自警消防隊の状況	85
----------	----

浴

革

川越地区消防組合の沿革

1. 消防組合の設立

昭和48年

- 4 . 1 川越市と川島町は、消防事務について共同処理することに合意し、規約(議決)により名称を川越地区消防組合と定め、消防の一部事務組合を設立した。

2. 業務開始

昭和48年

- 4 . 1 常備消防にあつては、川越地区消防組合消防本部2課(総務課(庶務係、経理係)、消防課(警防係、予防係、保安係))、1署(川越消防署)、3分署(新宿分署、霞ヶ関分署、高階分署)体制とし、職員の定数165人実員143人をもって業務を開始した。また、非常備消防にあつては、川越市消防団1団本部、12分団体制とし、団員の定数実員とも303人、川島町消防団3分団、6部体制とし、団員の定数実員とも150人をもって業務を開始した。

3. 業務開始後

- 7 . 11 火災予防を徹底するため広報車を霞ヶ関分署、高階分署に配置した。
- 9 . 5 危険物の災害防止と、増加する事務処理の迅速化に対処するため、川越地区危険物安全協会より小型乗用自動車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。
- 10 . 15 川島町区域内の救急業務の迅速化を図るため、川島町役場庁舎の一部の提供を受け、職員8人、救急自動車1台を配置し、川島分遣所を設置した。
- 10 . 22 緊急時の出動体制の確実迅速化を図るため、各分署に対する一斉指令装置を消防署に設置した。
- 10 . 23 埼玉県共済農業協同組合連合会より、救急車1台の寄贈があり、高階分署に配置した。

昭和49年

- 1 . 7 川島町大字平沼858番地1に川島分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建延364.77㎡が完成し、新庁舎に職員14人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置して業務を開始し、管内北部の消防力を充実強化した。
- 3 . 19 中高層建築物に対処するため、32m級はしご付消防ポンプ自動車を川越消防署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、川島分遣所を川越消防署川島分署とし、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、4分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島)体制となる。
- 11 . 21 川越市神明町48番地4に消防本部、消防署の庁舎鉄筋コンクリート造3階建、延1516.70㎡が完成し、11月23日に移転、業務を開始した。

昭和52年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署に通信指令第1係、通信指令第2係を配置した。
- 6 . 29 災害その他現場指揮本部用車両を消防本部に配置した。

昭和54年

- 4 . 5 機構改革により、川越消防署大東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東)体制となる。
- 川越市大字豊田新田20番地1に大東分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建398.80㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

7 . 24 災害その他現場への資機材輸送の迅速化を図るため、警防車を川越消防署に配置した。

昭和55年

5 . 1 機構改革により、川越消防署の通信指令第1係、通信指令第2係を専従体制とした。

昭和56年

4 . 1 機構改革により、総務課に教養係、消防課に施設係及び査察指導係を配置し、総務課3係(庶務係、経理係、教養係)、消防課5係(警防係、施設係、予防係、査察指導係、保安係)となる。

9 . 30 葵ライオンズクラブより、広報車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。

昭和57年

1 . 29 多様化する災害に対処するため、救助工作車を川越消防署に配置した。

2 . 1 通信指令室に消防緊急指令装置を設置した。

10 . 20 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。

10 . 22 地震対策の啓蒙に役立てるため、地震体験車(川越なまず号)を川島分署に配置した。

12 . 21 管内西部の工業地化が進み、化学火災に対処するため、化学車を大東分署に配置した。

昭和58年

1 . 14 通信指令室の総合気象観測装置を更新した。

2 . 8 通信指令室に救急専用無線局を設置した。

3 . 25 消防署に消防救助技術の向上を図るため、訓練塔(B塔)を設置した。

4 . 1 従来の川越消防署通信指令第1係、通信指令第2係を指令第1係、指令第2係とした。

12 . 6 エアーマスク用ボンベの空気充填の迅速化を図るため、川越消防署に空気充填庫(7.74㎡)を増築整備した。

昭和59年

2 . 28 高層建築物の増加に対処するため、46m級はしご付消防自動車を川越消防署に配置した。

3 . 15 消防救助技術訓練施設整備のため、川越消防署に訓練塔(A塔)を増設した。

3 . 25 新宿分署に車庫77.49㎡を増築し、32m級はしご付消防ポンプ自動車の配置換えをした。

昭和61年

4 . 1 機構改革により、川越消防署東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、6分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東、東)体制となる。

7 . 1 川越市大字久下戸3528番地1に東分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建451.05㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内東部の消防力を充実強化した。

昭和62年

8 . 21 日本消防協会より、広報車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。

8 . 28 川越消防署にマイクロバス(29人乗り)を配置した。

平成 元年

- 4 . 1 機構改革により、調査指導第1係、調査指導第2係を川越消防署に配置し、火災調査業務を専従体制とした。

平成 2年

- 3 . 29 警防車を川越消防署に配置した。

平成 3年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部消防課、川越消防署調査指導係及び指令係を廃止し、消防本部に予防課(予防係、査察指導係、保安係)、警防課(警防係、施設係、調査第1係、調査第2係)、指令課(指令第1係、指令第2係)を配置した。また、川島分署を川島消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、2署(川越、川島)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署に消防課(消防係)を配置し、組織の充実強化を図る。

平成 4年

- 8 . 24 川越地区危険物安全協会より、連絡車1台の寄贈があり、消防本部に配置する。
10 . 5 消防本部増築棟3階建が完成する。

平成 5年

- 3 . 15 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を増築棟の庁舎3階に設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の消防本部警防課調査第1係、調査第2係を調査係とした。また、霞ヶ関分署を川越西消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、4分署(新宿、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署の消防課に庶務係を配置し、組織の充実強化を図る。
5 . 19 救急救命士国家試験に職員1人が合格、本組合第1号の救急救命士が誕生した。
9 . 1 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越西消防署に配置した。
10 . 11 川越地区消防組合発足20周年記念式典を川越市民会館で開催した。
10 . 30 川島消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造2階建1, 136. 02㎡が完成し、竣工式を開催した。

平成 6年

- 3 . 31 川越西消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造3階建1, 490. 08㎡が完成し、救助工作車Ⅱ型1台及び救助資機材一式を配置して、管内西部の消防力を充実強化した。

平成 7年

- 3 . 16 消防救助技術訓練施設整備のため、川島消防署に訓練塔(A塔)を設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の総務課教養係を人事教養係とし、警防課救急係を救急救助係とした。また、警防課施設係を管理係とし総務課へ、調査係を調査第1係、調査第2係とし川越消防署消防課へ配置換えをした。また、消防署の中隊を廃止し、警備隊(14隊)救急隊(6隊)救助隊(2隊)とした。

平成 8年

- 2 . 14 阪神・淡路大震災を契機に、消防水利及び飲料水確保のため、小型動力ポンプ付水そう車を川越消防署に配置した。
高圧ボンベの普及により、空気充填の更なる迅速化を図るために、川島消防署に高圧ガス充填施設(12. 00㎡)を新設整備した。
3 . 29 災害時の応急救護所等に使用するため、エアーテントを川越消防署に配備した。

- 4 . 1 救急高度化推進事業の一環として、埼玉医科大学総合医療センターの医師による救急救命士法に基づいた指示体制が確立、本格的な救急救命士運用が始まる。
増加する救急要請に対応するため、高階分署の救急隊を専従体制とした。
- 5 . 8 阪神・淡路大震災を契機に、埼玉県下14消防本部(川越地区消防組合を含む)を中心とした彩の国レスキュー隊が発足した。
- 11 . 25 消防用無線局全国波を導入整備した。

平成 9年

- 3 . 19 彩の国レスキュー隊の発足に伴い、高度救助資器材を積載した救助工作車Ⅲ型を川越消防署に配置した。
- 3 . 21 震災対策用として可搬式小型動力ポンプを各署所に配置した。
- 4 . 1 川越地区消防組合救急高度化推進協議会を設置した。

平成10年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署消防課の調査第1係、調査第2係を第1調査隊、第2調査隊とし川越消防署に配置換えをした。また、大東分署の救急隊を専従体制とした。

平成11年

- 2 . 18 警防車を川越西消防署に配置した。
- 3 . 30 新宿分署新庁舎鉄筋コンクリート造3階建1, 772. 93㎡が完成し、竣工式を開催した。
- 4 . 1 多様化する災害への対応を図るため、救助隊を特別救助隊とし、新宿分署及び川越西消防署に配置した。

平成12年

- 2 . 1 川越消防署の水そう付消防ポンプ自動車を化学車に更新した。
- 3 . 2 はしご付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、東分署の救急隊を専従体制とした。

平成13年

- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、川島消防署の救急隊を専従体制とした。
川越地区消防組合消防音楽隊が設立される。
国際消防救助隊編成協力市町村の該当となり、8人の救助隊員を国際消防救助隊に登録した。
- 12 . 18 警防車を川越消防署に配置した。

平成14年

- 2 . 8 高規格救急車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 規約を変更し、「高圧ガス保安法に基づく事務」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務」及び「火薬類取締法及び施行規則に基づく事務」を新たに共同処理することとした。
複雑多様化する災害へ対応するため、第1指揮担当、第2指揮担当を川越消防署に配置した。
三交代制勤務の試行を指令課において開始する。
- 12 . 21 消防音楽隊発足式・演奏会をやまぶき会館にて開催した。

平成15年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部総務課人事教養係を職員係とし、川越消防署第1調査係、第2調査係を第1調査担当及び第2調査担当とした。
- 11 . 30 川越地区消防組合発足30周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成16年

- 4 . 1 機構改革により、消防本部に救急課(救急管理係、救急指導係)を配置し、従来の警防課を警防係、装備係の2係とした。また、川越西消防署名細分署を新設し、消防本部5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、5分署(新宿、高階、大東、東、名細)体制となる。

川越市大字鯨井589番地1に名細分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建1, 053. 16㎡が完成し、職員35人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

平成17年

- 3 . 31 指令課において実施していた三交代制勤務の試行を終了する。
- 4 . 1 機構改革により、消防本部名称を川越地区消防局に改め、係制を廃止し担当制とした。総務課に消防団担当を配置し、総務担当、消防団担当、財務担当、職員担当、管理担当の5担当とした。また、従来の指令課を指揮統制課とし、川越消防署第1指揮担当、第2指揮担当及び第1調査担当、第2調査担当を第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当とし、指揮統制課に配置換えをした。消防署にあっては、従来の川越消防署を川越北消防署に、東分署を南古谷分署とした。また、新宿分署を川越中央消防署として消防課を配置した。消防局5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となり、組織の充実強化を図る。
- 11 . 21 川越市自治会連合会より、消防活動用自動二輪車(赤バイ)の寄贈があり、消防局に配置した。

平成18年

- 7 . 19 川越地区消防局を含む県内7消防本部の救助隊による機動救助隊、防災航空隊及び県内の医療機関による埼玉DMATで構成される埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)が発足する。
- 10 . 1 全国的な救助体制の強化を図るため、川越地区消防局を含む全国50の消防本部に高度救助隊が創設され、川越中央消防署に配置した。

平成19年

- 2 . 28 後方支援車を川越西消防署名細分署に配置した。

平成20年

- 2 . 1 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を部分更新した。

平成22年

- 2 . 26 埼玉県防災ヘリコプターテレビ映像受信装置を設置した。
- 3 . 25 警防車を川島消防署に配置した。

平成24年

- 3 . 30 東日本大震災を契機に、震災対応体制の充実強化を図るため、震災対応初動資機材を各署所に配置した。

平成25年

- 1 . 15 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署高階分署に配置した。
- 12 . 21 川越地区消防組合設立40周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成26年

- 4 . 1 埼玉県広域災害・救急医療情報システムへのアクセス用タブレット端末を導入し、消防局指揮統制課及び救急自動車に配置した。

平成27年

- 3 . 26 消防力の強化を図るため、消防救急デジタル無線を導入整備した。
- 7 . 24 連絡車を川島消防署に配置した。
- 12 . 18 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署南古谷分署に配置した。

平成28年

- 1 . 27 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署に配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川島消防署に配置した。

平成29年

- 1 . 12 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署大東分署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課に指令管理担当を配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署に配置した。
- 12 . 18 高規格救急車を川越中央消防署に新たに配置した。

平成30年

- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課の第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当を第1指揮担当及び第2指揮担当とし、指揮隊を専従体制とした。また、火災調査に係る担当を火災調査担当とし、専従体制とするとともに指揮統制課から予防課へ配置換えをした。また、救急課の救急管理担当及び救急指導担当を救急担当とし、消防課の庶務担当及び消防担当を管理指導担当とした。また、増加する救急要請に対応するため、中央消防署の救急隊を2台体制とし、組織の充実強化を図る。
- 11 . 16 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。

令和元年

- 4 . 1 機構改革により、消防局に新消防庁舎建設準備室(庁舎建設担当)を配置し、消防局5課及び1室(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課、新消防庁舎建設準備室)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となる。

令和3年

- 4 . 1 機構改革により、総務課の財務担当を企画財政担当とした。また川越北消防署に統括管理課(統括管理担当)を配置し、消防課の管理指導担当を指導担当とした。

令和5年

- 4 . 1 機構改革により、消防課を指導課に、警備課を消防課とし、消防課及び消防分署の第1警備担当及び第2警備担当を第1消防担当及び第2消防担当とした。

○川越非常備消防

昭和49年

- 3 . 31 川越市消防団大東分団車庫木造モルタル平屋建49. 47㎡を移築した。

昭和51年

- 1 . 29 川越市消防団高階分団車庫ブロック造平屋建42. 0㎡を新築した。
11 . 1 川越市消防団山田分団車庫ブロック造平屋建53. 39㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 18 川越市消防団南古谷分団車庫鉄骨造2階建56. 0㎡を新築した。

昭和53年

- 3 . 30 川越市消防団第二分団車庫木造モルタル平屋建19. 04㎡を増改築し、48. 2㎡に整備した。
川越市消防団福原分団車庫木造モルタル平屋建12. 82㎡を増改築し、47. 53㎡に整備した。

昭和54年

- 3 . 22 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造2階建66. 14㎡を新築した。

昭和56年

- 3 . 31 川越市消防団霞ヶ関分団車庫木造34. 65㎡に2階部分34. 6㎡を増築し、69. 26㎡に整備した。
11 . 27 川越市消防団古谷分団車庫ブロック造40. 64㎡に木造2階部分34. 61㎡を増築し、75. 25㎡に整備した。

昭和57年

- 12 . 20 川越市消防団第一分団車庫木造及びブロック造平屋建に8. 26㎡増築し、61. 15㎡に整備した。

昭和58年

- 9 . 9 川越市消防団芳野分団車庫ブロック造平屋建に1. 28㎡増築し、44. 86㎡に整備した。

昭和61年

- 2 . 10 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。
3 . 31 川越市消防団福原分団車庫鉄骨造平屋建67. 62㎡を新築した。

昭和63年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数304人とした。
組織力強化のため、団本部の副団長を2人から3人体制とした。

平成 元年

- 3 . 11 川越市消防団大東分団車庫鉄骨造2階建84. 20㎡を新築した。

平成 3年

- 3 . 30 川越市消防団第三分団車庫鉄骨造2階建104. 52㎡を新築した。

平成 7年

- 3 . 31 川越市消防団第一分団車庫鉄筋コンクリート造2階建91. 4㎡を新築した。
川越市消防団古谷分団車庫鉄筋コンクリート造一部木造2階建99. 4㎡を新築した。

平成 8年

- 8 . 20 第19回埼玉県消防操法大会(ポンプ車の部)において優勝した。

平成10年

- 3 . 17 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団専用無線(基地局1台、車両積載12台、携帯型17台)を導入整備した。
- 4 . 1 組織力強化のため、団本部の副団長を3人から4人体制とした。

平成11年

- 2 . 9 日本消防協会表彰「表彰旗」を受賞した。
- 3 . 15 川越市消防団第二分団車庫鉄筋コンクリート造2階建109.79㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数305人とした。

平成12年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。作業服及び作業帽の色、デザインを一新するとともに、布地にはリサイクル素材を使用した。

平成13年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。夏服の色、デザインを新たなものとした。

平成14年

- 7 . 26 災害活動及び訓練時の安全管理のため、編上靴を導入した。

平成15年

- 3 . 14 川越市消防団山田分団車庫鉄骨造2階建112.00㎡を新築した。

平成16年

- 2 . 20 川越市消防団高階分団車庫鉄筋コンクリート造2階建112.00㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を20人増員、定数325人とし、女性消防団員20人を新規に採用した。

平成17年

- 3 . 25 川越市消防団芳野分団車庫鉄骨造平屋建104.00㎡を新築した。
- 10 . 20 川越市女性消防隊が第17回全国女性消防操法大会に埼玉県代表として出場し、準優勝した。

平成18年

- 3 . 28 川越市消防団霞ヶ関分団車庫鉄骨造平屋建100.00㎡を新築した。

平成19年

- 3 . 1 川越市消防団南古谷分団車庫木造平屋建103.10㎡を新築した。

平成20年

- 3 . 7 日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞した。
- 3 . 26 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造平屋建100.00㎡を新築した。

平成23年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を5人増員し、定数330人とした。

平成24年

- 5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

- 3 . 14 川越市消防団福原分団車庫鉄筋コンクリート造2階建99.22㎡を新築した。

平成26年

- 9 . 9 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェンソーを配置した。

平成27年

- 1 . 11 一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽自動車の寄贈を受けた。
- 3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。
- 10 . 14 災害活動の充実強化を図るため、各分団にエンジンカッターを配置した。

令和元年

- 3 . 6 消防庁長官表彰「竿頭綬」を受賞した。

令和4年

- 3 . 4 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

○川島非常備消防

昭和49年

4 . 1 川島町消防団が改組され、3分団6部、定数150人の組織から1団本部6分団、定数118人の組織体制となる。

昭和50年

12 . 23 川島町消防団第五分団車庫ブロック造平屋建25. 21㎡を新築した。

昭和52年

3 . 31 川島町消防団第六分団車庫ブロック造平屋建49. 98㎡を新築した。

昭和58年

11 . 30 川島町消防団第三分団車庫ブロック造平屋建3. 3㎡を増築して23. 1㎡に整備した。

昭和60年

7 . 19 災害現場での迅速な指揮活動のため団本部指令車1台を購入した。

昭和63年

3 . 30 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建29. 7㎡を新築した。

平成 3年

2 . 13 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建49. 87㎡を新築した。

平成 4年

2 . 13 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

平成 7年

2 . 17 川島町消防団第一分団車庫鉄骨造平屋建60. 3㎡を新築した。

平成11年

3 . 5 消防庁長官表彰「表彰旗」を受賞した。

平成12年

4 . 1 消防団服制規則を改正。作業服及び作業帽の色、デザインを一新するとともに、布地にはリサイクル素材を使用した。

平成13年

3 . 28 川島町消防団第四分団車庫鉄骨造2階建85. 66㎡を新築した。

4 . 1 消防団服制規則を改正。夏服の色、デザインを新たなものとした。

平成14年

7 . 26 災害活動及び訓練時の安全管理のため、編上靴を導入した。

平成15年

3 . 21 川島町消防団第五分団車庫鉄骨造2階建88. 9㎡を新築した。

平成17年

2 . 3 川島町消防団第六分団車庫鉄骨造平屋建89. 43㎡を新築した。

平成18年

1 . 16 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建2. 16㎡を増設した。(全体52. 03㎡)

平成19年

3 . 15 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建89.43㎡を新築した。

平成22年

4 . 1 川島町消防団団員の定数を6人増員、定数124人とし、女性消防団員7人を新規に採用した。

平成24年

5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

4 . 1 川島町消防団団員の定数を5人増員、定数129人とした。

平成26年

11 . 8 川島町消防団第五分団が第24回全国消防操法大会に埼玉県代表として出場し、敢闘賞を受賞した。

平成27年

3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。

平成28年

3 . 10 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェーンソーを配置した。

管内情勢

川 越 市

川越市の位置

位 置		面 積	
北 緯	35° 55' 30''	109. 13km ²	
東 経	139° 29' 08''	東 西	16. 27km
海 抜	18. 5m	南 北	13. 81km

川越市のあゆみ

川越市は、埼玉県中央部よりやや南部、武蔵野台地の東北端に位置し、遠く古代より交通の要衝、入間地域の政治の中心として発展してきました。平安時代には桓武平氏の流れをくむ武蔵武士の河越氏が館を構え勢力を伸ばしました。室町時代には、河越城を築城した太田道真・道灌父子の活躍により、扇谷上杉氏(おうぎがやつうえすぎし)が関東での政治・経済・文化の一端を担うとともに、河越の繁栄を築きました。江戸時代には江戸の北の守りとともに舟運を利用した物資の集積地として重要視されました。

大正11年には埼玉県内で初めて市制を施行し、昭和30年には隣接する9村を合併し現在の市域となり、平成15年には埼玉県内で初めて中核市に移行しました。

川越市は、都心から30キロメートルの首都圏に位置するベッドタウンでありながら、商品作物などを生産する近郊農業、交通の利便性を生かした流通業、伝統に培われた商工業、豊かな歴史と文化を資源とする観光など、充実した都市機能を有しています。現在も、埼玉県南西部地域の中心都市として発展を続けています。

川 島 町

川島町の位置

位 置		面 積	
北 緯	36° 00' 00''	41. 63km ²	
東 経	139° 30' 55''	東 西	11. 2km
海 抜	14. 5m	南 北	7. 9km

川島町のあゆみ

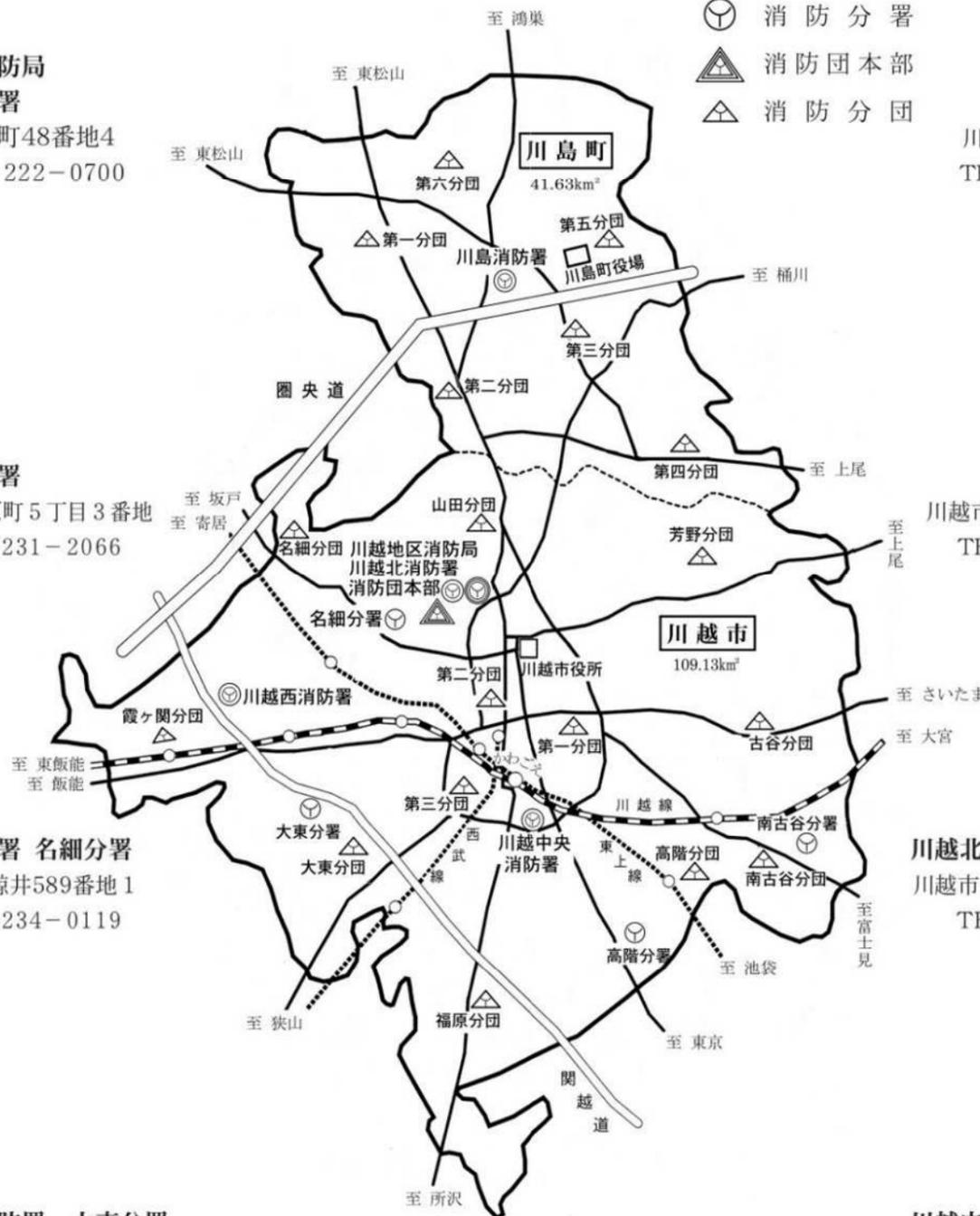
川島町は埼玉県のほぼ中央に位置し、北は都幾川・市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しており、まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。面積は41. 63平方キロメートルで、東西間11キロメートル、南北間8キロメートルの距離となっています。標高は平均14. 5メートルで高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前ごろからとみられており、町内にはそのころの様子がかがえる「塚」や「塚の跡」が残っています。江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

昭和29年、川島領と呼ばれる中山・伊草・三保谷・出丸・八ツ保・小見野の6か村が合併し、川島村が誕生。以後は中学校の統合や上水道の敷設など、積極的な村づくりを進め、昭和47年11月に町制を施行しました。・現在、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジの開通に伴い、インター周辺開発が進み、町は変革のときを迎えています。

消防機関配置図

- ◎ 消防局
- ⊙ 消防署
- ⊖ 消防分署
- △ 消防団本部
- ▲ 消防分団



〒350-0823
川越地区消防局
川越北消防署
 川越市神明町48番地4
 TEL 049-222-0700



〒350-0131
川島消防署
 川島町大字平沼888番地
 TEL 049-297-1891



〒350-1108
川越西消防署
 川越市伊勢原町5丁目3番地
 TEL 049-231-2066



〒350-1124
川越中央消防署
 川越市新宿町2丁目14番地7
 TEL 049-242-2365



〒350-0815
川越西消防署 名細分署
 川越市大字鯨井589番地1
 TEL 049-234-0119



〒350-0011
川越北消防署 南古谷分署
 川越市大字久下戸3528番地1
 TEL 049-235-0801



〒350-1162
川越中央消防署 大東分署
 川越市南大塚1丁目1番地9
 TEL 049-245-3119



〒350-1137
川越中央消防署 高階分署
 川越市大字砂新田16番地3
 TEL 049-243-8054

総務

人口等の推移

(1) 川越市、川島町の状況

各年4月1日現在

年	人口等		人口(人)		世帯数(世帯)		人口密度(人/km ²)	
	川越市	川島町	川越市	川島町	川越市	川島町	川越市	川島町
平成30年	352,418	20,488	156,725	8,111	3,229	492		
令和元年	353,078	20,189	158,724	8,113	3,235	485		
令和2年	353,456	19,863	160,831	8,090	3,239	477		
令和3年	353,442	19,622	163,023	8,112	3,239	471		
令和4年	352,896	19,281	164,413	8,108	3,234	463		
令和5年	352,986	19,112	166,362	8,214	3,235	459		

面積＝川越市109.13km²

川島町41.63km²

(2) 消防組合区域の状況

年	人口等	人口(人)	世帯数(世帯)	人口密度(人/km ²)
平成30年		372,906	164,836	2,474
令和元年		373,267	166,837	2,476
令和2年		373,319	168,921	2,476
令和3年		373,064	171,135	2,475
令和4年		372,177	172,521	2,469
令和5年		372,098	174,576	2,468

面積＝150.76km²

消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合

令和5年4月1日現在

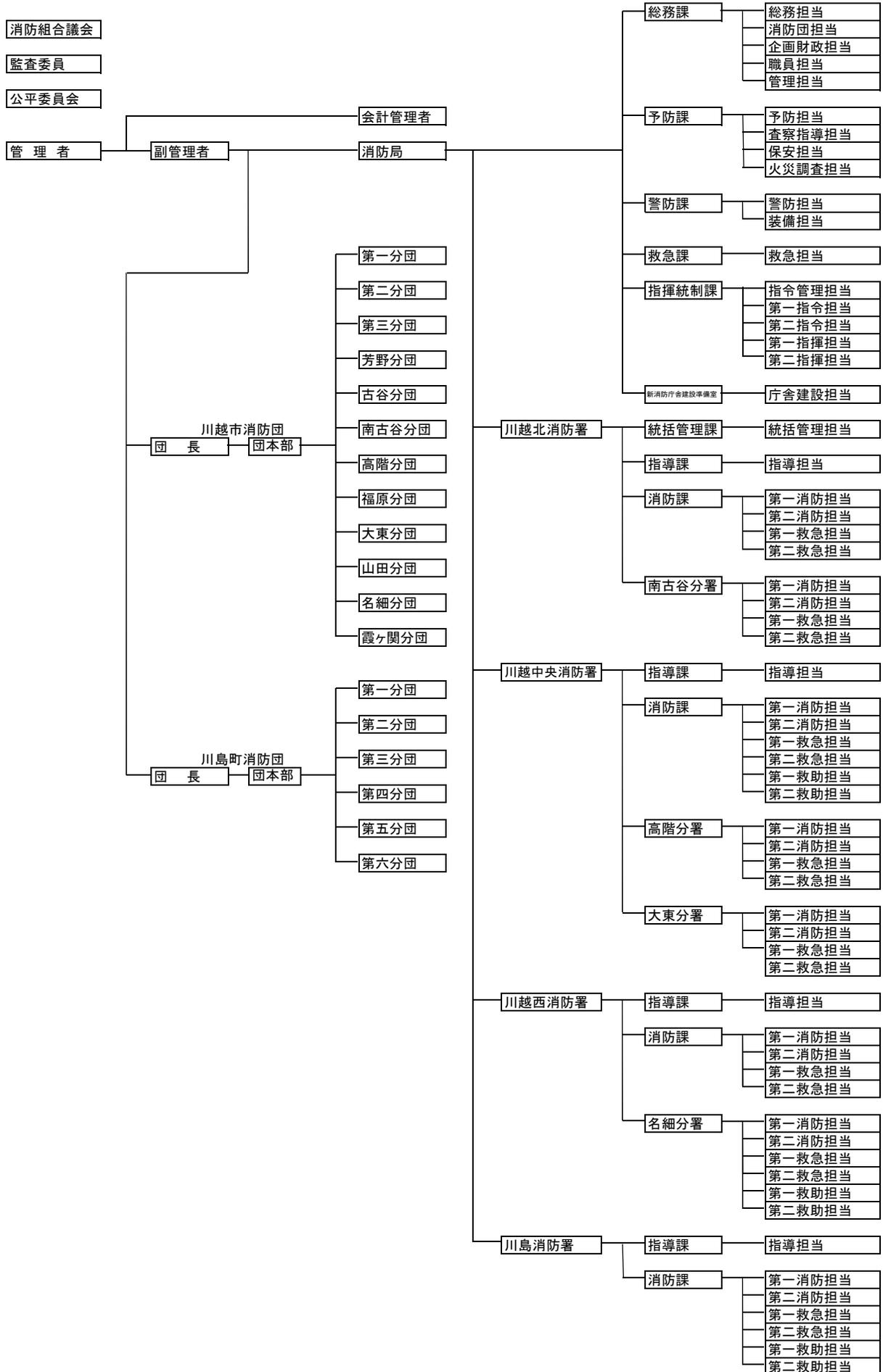
人口等	現有数	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
消防吏員1人当り	432人	861	404	0.35
消防ポンプ車1台当り	18台	20,672	9,699	8.38
救急車1台当り	13台	28,623	13,429	11.60
1署当り	8署	46,512	21,822	18.85

※定数外の職員を含みます。

※再任用短時間勤務職員を含みません。

川越地区消防組合機構図

令和5年4月1日



消防局・消防署事務分掌

令和5年4月1日現在

消防局

総務課	総務担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 組合議会に関すること。 2 儀式及び表彰に関すること。 3 文書の管理に関すること。 4 公印に関すること。 5 情報公開制度に関すること。 6 個人情報の保護に関すること。 7 条例及び規則等に関すること。 8 広報及び広聴の総合的な調整等に関すること。 9 監査に関すること。 10 公平委員会に関すること。 11 消防長会等に関すること。 12 課内の庶務事務に関すること。 13 その他他の主管に属さない事項に関すること。
	消防団担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防団に関すること。 2 消防協会に関すること。
	企画財政担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合計画に関すること。 2 行政組織に関すること。 3 本部会議、所属長会議及び担当会議に関すること。 4 消防統計(他の主管に属する統計を除く。)に関すること。 5 予算の編成に関すること。 6 予算の執行計画、配当及び執行統制に関すること。 7 物品の出納及び保管に関すること。 8 決算に関すること。
	職員担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関すること。 2 職員の服務その他身分取扱いに関すること。 3 職員の配置に関すること。 4 職員等の旅費に関すること。 5 職員の給与に関すること。 6 職員の給貸与物品に関すること。 7 職員の教養及び研修に関すること。 8 職員の福利厚生に関すること。 9 職員の労働安全衛生に関すること。 10 職員の公務災害補償に関すること。 11 市町村職員共済組合に関すること。
予防課	管理担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。 2 契約に関すること。 3 国庫及び県費の補助に関すること。
	予防担当	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災予防に係る事業計画の立案及び事業の実施に関すること。 2 防火管理に関すること。 3 消防用設備等の指導に関すること。 4 消防法(昭和23年法律第186号)第7条に基づく建築物の許可等の同意に関すること。 5 法令に基づく各種届出に関すること。 6 予防統計に関すること。 7 住民の防火組織の育成指導に関すること。 8 自衛消防の育成指導に関すること。 9 危険物防火安全協会に関すること。 10 課内の庶務事務に関すること。

予 防 課	査察指導担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 消防対象物の査察に関する事。 2 違反防火対象物の改善指導に関する事。 3 表示及び公表の制度に関する事。 4 住宅防火対策に関する事。
	保安担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 危険物の規制に関する事。 2 危険物製造所等の許認可、査察、事故原因調査及び事故防止対策指導に関する事。 3 少量危険物及び指定可燃物の届出の受理に関する事。 4 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく事務に関する事。 5 火薬類取締法(昭和25年法律第49号)に基づく事務に関する事。 6 高圧ガス保安法(昭和26年法律第204号)に基づく事務に関する事。
	火災調査担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 火災の原因及び損害の調査、報告及び統計に関する事。 2 火災証明に関する事。 3 火災調査技術の研究に関する事。
警 防 課	警防担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 警防及び救助業務に係る企画立案に関する事。 2 警防活動体制に関する事。 3 消防相互応援協定に関する事。 4 緊急消防援助隊に関する事。 5 警防計画に関する事。 6 警防本部の運営に関する事。 7 消防水利に関する事。 8 救助統計に関する事。 9 国際消防救助隊に関する事。 10 課内の庶務事務に関する事。
	装備担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 消防車両及び消防資機材の整備に関する事。 2 消防車両の管理に関する事。 3 公用車の事故処理に関する事。 4 安全運転管理の指導に関する事。
救 急 課	救急担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 救急業務に係る企画立案に関する事。 2 救急自動車及び救急資機材の整備に関する事。 3 医療機関等との連絡調整に関する事。 4 救急出場証明に関する事。 5 救急高度化の推進に関する事。 6 救急統計に関する事。 7 応急手当の普及及び啓発に関する事。 8 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関する事。 9 メディカルコントロールに関する事。
指 揮 統 制 課	指令管理担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 消防緊急通信指令施設に関する事。 2 消防気象観測装置の管理に関する事。 3 課内の庶務事務に関する事。
	第一指令担当 及び 第二指令担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 緊急通報受信及び出場指令に関する事。 2 災害等の情報の収集及び連絡に関する事。 3 災害現場への支援情報に関する事。
	第一指揮担当 及び 第二指揮担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 災害現場における指揮活動に関する事。 2 災害現場における情報収集及び現場広報に関する事。 3 警防活動技術の調査、研究及び計画に関する事。 4 消防部隊の教育訓練の計画及び実施に関する事。
建 新 消 防 課	庁舎建設担当	<ul style="list-style-type: none"> 1 新消防庁舎建設に関する事。

川越北消防署 南古谷分署
 川越中央消防署 高階分署 大東分署
 川越西消防署 名細分署
 川島消防署

(川越北消防署) 統括管理課	統括管理担当	1 消防署の予算(川島町消防団予算を除く。)の執行事務に関する事。 2 署会議及び署担当会議に関する事。 3 消防署間の事務の調整に関する事。 4 職員の教養及び研修に関する事。
指導課(消防署)	指導担当	1 消防署に係る公印に関する事。 2 署長等が主宰する会議に関する事。 3 住宅防火対策に関する事。 4 消防対象物の査察の実施に関する事。 5 圧縮アセチレンガス等の貯蔵及び取扱いに関する事。 6 防火対象物に対する防火管理に関する事。 7 火災予防等の計画及び実施に関する事。 8 法令に基づく届出に関する事。 9 訓練指導に関する事。 10 消防署内の事務の調整に関する事。 11 川島町消防団に関する事(川島消防署指導課に限る。) 12 消防協会に関する事(川島消防署指導課に限る。)。
消防課(消防署)・分署	第一消防担当 及び 第二消防担当	1 水火災、救助等の災害時等の出動に関する事。 2 消防対象物の査察の実施に関する事。 3 防火対象物に対する防火管理に関する事。 4 住宅防火対策に関する事。 5 火災等の調査に関する事。 6 法令に基づく届出に関する事。 7 訓練指導に関する事。 8 消防車の維持管理に関する事。 9 消防資機材の運用及び維持管理に関する事。 10 警防活動及び救助活動の研究に関する事。 11 警防調査に関する事。 12 課(分署)内の庶務事務に関する事。
	第一救急担当 及び 第二救急担当	1 救急の出動に関する事。 2 応急手当の指導に関する事。 3 救急車の維持管理に関する事。 4 救急資機材の運用及び維持管理に関する事。 5 救急医薬品に関する事。 6 救急活動の研究に関する事。
	第一救助担当 及び 第二救助担当 [川越中央消防署 名細分署 川島消防署]	1 水火災、救助等の災害時の出動に関する事。 2 消防対象物の査察の実施に関する事。 3 防火対象物に対する防火管理に関する事。 4 住宅防火対策に関する事。 5 火災等の調査に関する事。 6 法令に基づく届出に関する事。 7 訓練指導に関する事。 8 救助工作車等の維持管理に関する事。 9 救助資機材等の運用及び維持管理に関する事。 10 救助活動の研究に関する事。 11 救助活動及び警防活動に伴う警防調査に関する事。

職員の配置状況

令和5年4月1日現在

階級 署所	消 防 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	消防吏員以外の職員	合 計
消 防 局	1	3	10	19	37	11(4)	2	3	1	87(4)
川越北消防署		1	4	8	13	5(2)	7	9		47(2)
南古谷分署			1	4	13	7	2	6		33
川越中央消防署		1	2	7	25	13(2)	12	10		70(2)
高階分署			1	4	13	4	2	9		33
大東分署			1	4	14		6	8		33
川越西消防署		1	2	5	17	3(2)	2	12		42(2)
名細分署			1	4	17	10	5	8		45
川島消防署		1	2	6	14	7(1)	5	8		43(1)
合 計	1	7	24	61	163	60(11)	43	73	1	433(11)

※ 定数外の職員を含みます。

(単位:人)

※ ()は、短時間勤務の職員の数を外書しています。

消防自動車の配置状況

令和5年4月1日現在

車 種 署所	水槽付 ポンプ 自動車	ポンプ 自動車	化学車	水槽車	高規格 救急車	救 助 工作車	はしご車	指揮車	調査車	指令車	後 方 支援車	警防車	広報車	その他	合 計	小 型 力 ポンプ
消 防 局								1	1	3				1(赤バイ) 6(連絡車)	12	
川越北消防署		1	1		2		1					1	1	1(マイクロ) 1(連絡車)	9	2
南古谷分署	1	1			2							1	1		6	1
川越中央消防署		2	1		2	1	1					1	1	2(連絡車)	11	1
高階分署	1	1			1		1						1		5	1
大東分署		1	1	1	1								1		5	1
川越西消防署	1	2			2		1						1	1(連絡車)	8	1
名細分署	1	1			2	1					1	1	1		8	1
川島消防署	1	1			1	1						1	1	1(起震車) 1(連絡車)	8	1
合 計	5	10	3	1	13	3	4	1	1	3	1	5	8	14	72	9

(単位:台)

基準消防力と現有消防力の比較

令和5年4月1日現在

区分	基準消防力(署)	現有消防力(署)	充足率(%)
署所の数	10	8	80

区分	基準台数	現有台数	充足率(%)	基準人員	現有人員	充足率(%)
消防ポンプ自動車	15	13	87	411	320	78
はしご車	3	4	133			
化学車	3	3	100			
救急車	11	9	82			
救助工作車	3	3	100			
指揮車	2	1	50			
特殊車両等	8	8	100			
非常用消防自動車	2	2	100			
非常用救急車	2	4	200			
通信員						
予防要員				67(15)	56(15)	84
庶務処理等の人員				66	66	100
合計				547	443	81

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める算出基準によるものです。

※ () は、交代制勤務の職員による兼務要員の数を内書きしたもので、合計に重複計上していません。

※ 現有人員は、再任用短時間勤務職員を含みます。

川越市・川島町予算（一般会計）消防組合予算（当初）

(1) 市・町予算に対する消防組合の割合

区分 年度	川越市予算 (千円)	川島町予算 (千円)	合 計 (千円)	消防組合 予 算 (千円)	市町予算 合計額に 対する組合 予算の割合 (%)	住民1人 当たりの 組合予算 (円)	消防職員1人 当たりの常 備消防予算 (円)
令和3年度	112,070,000	6,935,000	119,005,000	5,401,425	4.5	14,479	11,320,659
令和4年度	116,720,000	7,513,000	124,233,000	5,523,176	4.4	14,840	11,649,300
令和5年度	121,000,000	7,750,000	128,750,000	5,924,674	4.6	15,922	12,313,006

(2) 市・町予算に対する消防組合負担金等の割合

区分 年度	川 越 市 負 担 金 等 (千円)	市 予 算 に 対 する 負 担 割 合 (%)	川 島 町 負 担 金 等 (千円)	町 予 算 に 対 する 負 担 割 合 (%)	共通経費負担割合	
					川 越 市 (%)	川 島 町 (%)
令和3年度	4,418,310	3.9	508,382	7.3	90	10
令和4年度	4,510,880	3.9	518,732	6.9	90	10
令和5年度	4,549,958	3.8	525,250	6.8	90	10

※ 負担金等：負担金及び受託料を含む

消防組合予算（当初）

(1) 歳入

区分	年度予算額等		令 和 4 年 度		令 和 5 年 度	
	予 算 額(千円)	構 成 割 合 (%)	予 算 額(千円)	構 成 割 合 (%)	予 算 額(千円)	構 成 割 合 (%)
分 担 金 及 び 負 担 金	5,022,541	90.9	5,073,681	85.6		
使 用 料 及 び 手 数 料	4,468	0.1	5,415	0.1		
財 産 収 入	100	0.0	1,681	0.0		
寄 付 金	1	0.0	1	0.0		
繰 越 金	75,000	1.4	25,000	0.4		
諸 収 入	25,566	0.5	19,696	0.3		
組 合 債	395,500	7.2	799,200	13.5		
歳 入 合 計	5,523,176	100.0	5,924,674	100.0		

(2) 歳出

年度予算額等 区分	令和4年度		令和5年度	
	予算額(千円)	構成割合(%)	予算額(千円)	構成割合(%)
議会費	6,538	0.1	7,295	0.1
総務管理費	4,007	0.1	3,570	0.1
監査委員費	383	0.0	382	0.0
常備消防費	5,044,147	91.3	5,356,158	90.4
非常備消防費	137,395	2.5	232,597	3.9
水利施設費	86,694	1.6	105,921	1.8
自警消防費	3,588	0.1	1,527	0.0
水防費	3,483	0.1	—	—
公債費	232,441	4.2	212,724	3.6
予備費	4,500	0.1	4,500	0.1
歳出合計	5,523,176	100.0	5,924,674	100.0

消防組合予算性質別内訳(当初)

年度予算額等 区分	令和4年度		令和5年度	
	予算額(千円)	構成割合(%)	予算額(千円)	構成割合(%)
人件費	4,135,158	74.9	4,077,894	68.8
物件費	504,308	9.1	450,773	7.6
維持補修費	13,021	0.2	10,309	0.2
補助費等	120,309	2.2	157,328	2.7
普通建設事業費	499,389	9.0	896,906	15.1
公債費	232,441	4.2	212,724	3.6
積立金	14,050	0.3	114,240	1.9
予備費	4,500	0.1	4,500	0.1
歳出合計	5,523,176	100.0	5,924,674	100.0

※ 構成割合(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しています。
したがって、構成割合は、合計が100%とならない場合があります。

消防庁舎の現況

令和5年4月1日現在

署 所	所 在 地	建築年月日	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消 防 局	〒350-0823 川越市神明町48-4	S49.11.21 H 4.10. 5 (増築)	鉄筋コンクリート造3階建 鉄筋コンクリート造3階建	4,103.26	791.80 238.06	2,237.66
川越北消防署	消防局と併用	-	-	-	-	-
南古谷分署	〒350-0011 川越市大字久下戸 3528-1	S61. 6.25	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建	2,432.00	367.02	451.08
川越中央消防署	〒350-1124 川越市新宿町 2-14-7	H10.11.13	鉄筋コンクリート造3階建	3,097.26	918.145	1,772.93
高 階 分 署	〒350-1137 川越市大字砂新田 16-3	S47. 8.30	鉄筋コンクリート造3階建	1,755.72	409.01	1,038.13
大 東 分 署	〒350-1119 川越市南大塚1-1-9	S54. 3.15 H30. 3.28 (増築)	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建	1,578.08	398.80 48.59	441.55
川越西消防署	〒350-1108 川越市伊勢原町5-3	H 6. 3.31	鉄筋コンクリート造3階建	1,598.72	528.00	1,490.08
名 細 分 署	〒350-0815 川越市大字鯨井 589-1	H16. 3.31	鉄筋コンクリート造2階建	3,535.00	1,053.16	1,498.66
川島消防署	〒350-0131 川島町大字平沼888	H 5. 7.12	鉄筋コンクリート造2階建	5,135.53	715.27	1,136.02

令和4年度主要な施設等の整備

事業名	事業内容	事業費	
施設関係	庁舎等整備	川越北消防署南古谷分署トイレ改修工事	6,810,100
		川越中央消防署大東分署トイレ改修工事	6,160,000
		川島消防署訓練塔(A塔)改修工事	15,514,400
		川越市消防団大東分団車庫新築工事構造・設備設計業務委託	1,518,000
	消防局 庁舎建設	川越地区消防局・川越北消防署新庁舎造成工事	193,718,800 <small>※付帯工事費含む</small>
		川越地区消防局・川越北消防署新消防庁舎建設工事実施設計業務委託(その2)	68,997,500
		川越地区消防局・川越北消防署新庁舎建設予定地分筆登記資料作成等業務委託	2,618,000
備品関係	車両等整備	連絡車(消防局)	2,728,000
		消防ポンプ自動車(川越市消防団霞ヶ関分団)	19,910,000

(単位:円)

職員定数・実員の推移

各年4月1日現在

	定 数	実 員	定数条例改正年月日		定 数	実 員	定数条例改正年月日
昭和 48年	165	143	昭和48年4月1日	平成 11年	361	360	平成11年4月1日
49年	166	166	昭和49年4月1日	12年	371	368	平成12年4月1日
50年	167	167	昭和50年4月1日	13年	377	375	平成13年4月1日
51年	167	167		14年	391	391	平成14年4月1日
52年	167	166		15年	407	407(2)	平成15年4月1日
53年	174	167	昭和53年4月1日	16年	424	424	平成16年4月1日
54年	195	195	昭和54年4月1日	17年	424	424	
55年	203	202	昭和55年4月1日	18年	428	428	平成18年4月1日
56年	207	207	昭和56年4月1日	19年	428	428	
57年	212	212	昭和57年4月1日	20年	428	428	
58年	215	214	昭和58年4月1日	21年	428	427(2)	
59年	215	214		22年	428	428(5)	
60年	215	214		23年	428	428(12)	
61年	236	233	昭和61年4月1日	24年	428	428(14)	
62年	236	236		25年	428	428(12)	
63年	236	235		26年	428	428(19)	
平成 元年	240	237	平成元年4月1日	27年	428	428(13)	
2年	240	240		28年	428	427(17)	平成28年4月1日 定数外の職員に係る規定の追加
3年	250	244	平成3年4月1日				
4年	267	265	平成4年4月1日	29年	428	428(11)	
5年	287	286	平成5年4月1日	30年	428	429(8)	
6年	320	308	平成6年4月1日	令和 元年	433	434(6)	平成31年4月1日
7年	325	323	平成7年4月1日	2年	433	432(8)	
8年	337	337	平成8年4月1日	3年	433	434(10)	
9年	342	340	平成9年4月1日	4年	435	435(11)	令和4年4月1日
10年	352	352	平成10年4月1日	5年	435	433(11)	

※()は、短時間勤務の職員の数を外書しています。

※平成28年度以降の実員については、定数外の職員を含みます。

職員の年齢

令和5年4月1日現在

階級等 年齢	消防吏員								消防吏員以外の職員	合計
	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
18歳										
19歳								3		3
20歳								5		5
21歳								3		3
22歳								6		6
23歳								10		10
24歳								12		12
25歳								5		5
26歳								9		9
27歳								12		12
28歳							4	6		10
29歳							6	2		8
30歳							10			10
31歳						1	9			10
32歳						2	5			7
33歳						8	4			12
34歳						5				5
35歳						11	1			12
36歳					1	4	2			7
37歳					3	7	1			11
38歳					5	7	1			13
39歳					8	4				12
40歳					3	4				7
41歳					10	1				11
42歳					13	1				14
43歳					15	2				17
44歳					17				1	18
45歳					17	1				18
46歳				1	18	2				21
47歳				3	20					23
48歳				10	11					21
49歳				13	13					26
50歳				9	5					14
51歳				6						6
52歳			1	6	1					8
53歳			5	6	1					12
54歳			4							4
55歳		1	7	3						11
56歳		4	3	3	1					11
57歳		1	3	1						5
58歳					1					1
59歳	1	1	1							3
60歳										
61歳										
62歳										
63歳										
64歳										
平均	59.0	56.4	54.8	50.5	44.7	36.8	31.1	24.4	44.0	40.4
合計	1	7	24	61	163	60	43	73	1	433

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

職員の勤続年数

令和5年4月1日現在

階級等 年数	消防吏員								消防吏員以外の職員	合計	
	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士			
1年未満									6	6	
1年以上									10	1	11
2年以上									15		15
3年以上									8		8
4年以上									7		7
5年以上									14		14
6年以上								4	2		6
7年以上								3	5		8
8年以上								3	2		5
9年以上							2	2	4		8
10年以上							2	3			5
11年以上							3	6			9
12年以上							11	11			22
13年以上							7	5			12
14年以上						2	8	5			15
15年以上						2	6	1			9
16年以上						4	1				5
17年以上						3	5				8
18年以上						2	2				4
19年以上						13	5				18
20年以上						16	3				19
21年以上						16	1				17
22年以上						12	1				13
23年以上						12	3				15
24年以上					1	11					12
25年以上						3	12				15
26年以上						1	10				11
27年以上						5	12				17
28年以上						5	11				16
29年以上						3	15				18
30年以上					1	11	6				18
31年以上					3	14	1				18
32年以上					1	7					8
33年以上					1	2	1				4
34年以上					3	3	1				7
35年以上											0
36年以上		1	3	2							6
37年以上		6	9	4	1						20
38年以上											0
39年以上				2							2
40年以上											0
41年以上	1		1								2
42年以上											0
43年以上											0
44年以上											0
45年以上											0
46年以上											0
平均	41.0	36.9	35.4	30.5	23.7	15.0	10.8	3.6	1.0	19.6	
合計	1	7	24	61	163	60	43	73	1	433	

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

職員の採用、退職等の状況

職員数等 年度	職員数 (4月1日現在)	採用人員	退職人員
令和2年	432	12	13
令和3年	434	13	9
令和4年	435	10	8
令和5年	433	6	—

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

※ 令和5年度の採用人員数は、4月1日現在のものとなります。

職員の教養実施状況

(1) 消防大学校

教養課程 年度	上級 幹部科	幹部科	警防科	予防科	危険物科	救急科	救助科	火災 調査科	高度救助 コース	N B C コース	女性活躍 推進コース	合計
令和2年	1	1		1		1		1	1	1	1	8
令和3年												0
令和4年	1	1							1		1	4

※令和3年度は配分なし

(単位:人)

(2) 県消防学校

教養課程 年度	初任教育	専科						幹部教育	特別教育	合計
		予防査察	警防	特殊災害	救急	救助	火災調査			
令和2年		3	2	2	7	2		2	2	20
令和3年	16		2		8	2	1		4	33
令和4年	13	3	2	2	12	2		2	4	40

(単位:人)

(3) その他

- ・ 消防長訓示 毎月初旬、全職員を対象として通常点検訓示を実施しています。
- ・ 一般教養 職員を対象とした各種研修等を適宜実施しています。

消防音楽隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、演奏によりその意義を高めるとともに市町民との融和を図り、消防業務の推進に寄与することを任務とし、平成13年4月1日に設立。消防関係行事をはじめ市町主催の各種行事にも出場し、広く市町民に対して消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発と消防のPRに努めています。

1 編 成

隊員編成

令和5年4月1日現在

隊長 1名	副隊長 3名	隊員 36名
-------	--------	--------

保有楽器

楽 器 名	数 量	楽 器 名	数 量
シ ン バ ル	1	ティンパニー	4
鉄 琴	2	ド ラ ム	1
木 琴	1	バ リ ト ン	1
トランペット	5	エレキギター	1
サクソフォン	7	エレキベース	1
フレンチホルン	4	チ ュ ー バ	2
トロンボーン	4	ユーフォニウム	2
クラリネット	6	コンサートドラム	1
ピ ッ コ ロ	1	チャイム	1
フルート	3	シロホン	1

2 活動状況

令和4年度

種別 月	訓練回数		出 演 状 況 内 訳				備 考
	合同 訓練	パート 訓練	消 防 関 係	市 町 関 係	その他		
4月		2					
5月	2	4					
6月	2	3					
7月	3	4					
8月	2	4					
9月	3	4					
10月	3	4					
11月	3	4					
12月	3	4					
1月	4	4					
2月	2	4	1			第16回定期演奏会	
3月	2	4					
合計	29	45	1	0	0		

消防相互応援協定等の状況

令和5年4月1日現在

消防相互応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成10年12月25日	比企広域市町村圏組合
2	平成18年9月5日	さいたま市
3	平成18年11月1日	上尾市
4	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定
5	平成20年3月10日	坂戸・鶴ヶ島消防組合
6	平成25年4月1日	埼玉西部消防組合
7	平成27年10月30日	埼玉県央広域事務組合・桶川市・北本市
8	平成30年4月1日	入間東部地区事務組合
9	令和5年4月1日	高崎市・安中市消防組合

防災ヘリコプター応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成3年3月29日	埼玉県

関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成31年4月1日	埼玉県下10消防機関

鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成18年12月1日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内鉄道事業者(11社)

災害時における高速自動車国道等の使用の取り扱いに関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成19年11月27日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内埼玉DMAT登録医療機関

自衛隊又は米軍の航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和4年7月29日	埼玉県、埼玉県警察本部、航空自衛隊中部航空警戒管制団 他

埼玉医科大学総合医療センター場外離着陸場を利用した救急搬送に関する協定書

	締結年月日	締結団体名
1	平成26年2月1日	埼玉県、埼玉医科大学総合医療センター

救急ワークステーションの運営に関する基本協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年2月7日	埼玉医科大学総合医療センター

大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年4月1日	埼玉中央生コン協同組合、株式会社川村興産 東和アークス株式会社
2	平成30年10月1日	有限会社渋谷建材、有限会社貫井建材店

災害時に必要な燃料等の優先供給に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年4月1日	埼玉中央農業協同組合、埼玉中央農業協同組合川島基幹支店
2	平成30年7月1日	有限会社山口油材、相沢石油店、株式会社伊藤興産、永翔石油株式会社、有限会社中村石油、野口石油株式会社

災害時における消防活動の協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和2年3月19日	埼玉県解体業協会

災害時における無人航空機による情報収集活動の協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和2年11月1日	株式会社ジュンテクノサービス

予

防

法令に基づく各種届出状況

各年度

	防火管理		防災管理		防火対象物 使用開始	電気 設備	火を使用 する 設備等	催物
	選解任	消防計画	選解任	消防計画				
令和2年度	763	844	39	48	369	130	17	0
令和3年度	765	844	21	24	341	75	48	0
令和4年度	710	797	15	18	317	83	45	2

防火・防災管理者選任(解任)届出状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

区 分			防火 管理	防災 管理	区 分			防火 管理	防災 管理
(1)	イ	劇場等	1	0	(8)		図書館等	3	0
	ロ	公会堂等	66	0	(9)	イ	特殊浴場	0	0
(2)	イ	キャバレー等	0	0		ロ	一般浴場	1	0
	ロ	遊技場等	9	0	(11)		神社・寺院等	2	0
	ハ	性風俗特殊営業店舗等	0	0	(12)	イ	工場等	23	1
	ニ	カラオケボックス等	2	0	(12)	ロ	スタジオ	0	0
(3)	イ	料理店等	0	0	(13)	イ	駐車場等	0	0
	ロ	飲食店	61	0		ロ	航空機格納庫	0	0
(4)		百貨店等	104	0	(14)		倉庫	16	0
(5)	イ	旅館等	0	0	(15)		事務所等	58	0
	ロ	共同住宅等	83	0	(16)	イ	特定複合用途 防火対象物	183	13
(6)	イ	病院等	8	0		ロ	非特定複合用途 防火対象物	8	0
	ロ	特別養護老人ホーム等	27	0	(16-2)		地下街	0	0
	ハ	老人デイサービスセンター等	25	0	(16-3)		準地下街	0	0
	ニ	幼稚園等	5	0	(17)		文化財	0	0
(7)		学校	25	1	合 計			710	15

消防用設備等設置届出状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

消防用設備等	署所(区域)	消防局	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川 島 消防署	合計
消火器		107	11	22	11	2	153
屋内消火栓設備		3	4	8	4	2	21
スプリンクラー設備		7	6	22	2	2	39
水噴霧消火設備						1	1
泡消火設備			2				2
不活性ガス消火設備			2				2
ハロゲン化物消火設備							0
粉末消火設備		2		2		1	5
屋外消火栓設備				1	3		4
動力消防ポンプ設備							0
自動火災報知設備		66	55	147	23	20	311
ガス漏れ火災警報設備		1		4			5
漏電火災警報器		1					1
消防機関へ通報する火災報知設備		5	3	4	1		13
非常警報設備		21	15	37	8	3	84
避難器具		30	2	8	1		41
誘導灯・誘導標識		61	50	96	21	16	244
消防用水							0
排煙設備		1					1
連結散水設備							0
連結送水管		4		2			6
非常用コンセント							0
無線通信補助設備				1			1
必要とされる防火安全性能を有する 消防の用に供する設備等 ※		5		7			12
合計		314	150	361	74	47	946

※ パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備、加圧防排煙設備、共同住宅用スプリンクラー設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、共同住宅用非常警報設備

建築物同意状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

防火対象物		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
(1)	イ 劇場等														0
	ロ 公会堂等								2						2
(2)	イ キャバレー等														0
	ロ 遊技場等														0
	ハ 性風俗特殊営業店舗等														0
	ニ カラオケボックス等														0
(3)	イ 料理店等														0
	ロ 飲食店	1		1	2	2		3	1		1	1		12	
(4)	百貨店等	1	1	2			1	2	1		1			9	
(5)	イ 旅館等													0	
	ロ 共同住宅等	6	4	8	1	3	4	5	5	4	4	3	7	54	
(6)	イ 病院等	1		1		1		1	1	1	1		2	9	
	ロ 特別養護老人ホーム等			1	1	1		2	1	2	1			9	
	ハ 老人デイサービスセンター等					2								2	
	ニ 幼稚園等	1												1	
(7)	学校			1								1	2	4	
(8)	図書館等													0	
(9)	イ 特殊浴場													0	
	ロ 一般浴場													0	
(10)	停車場等													0	
(11)	神社・寺院等													0	
(12)	イ 工場等	2	1	1	2		1	1					2	10	
	ロ スタジオ													0	
(13)	イ 駐車場等											1	1	2	
	ロ 航空機格納庫													0	
(14)	倉庫	1	2			1	1	2	1	1	2	1	4	16	
(15)	事務所等		1	2	4	1	2		3	2	3	2	1	21	
(16)	イ 特定複合用途防火対象物		1		3	2		1		2		1	1	11	
	ロ 非特定複合用途防火対象物		1											1	
(16-2)	地下街													0	
(16-3)	準地下街													0	
(17)	文化財													0	
危険物施設								1						1	
住宅等(長屋、住宅の付属建築物及び併用住宅含む)		10	14	10	14	22	5	11	22	15	13	19	8	163	
合 計		23	25	27	27	35	14	31	35	27	26	29	28	327	

用途別防火対象物数

令和5年4月1日現在

防火対象物		署所(区域)		川越西 消防署	川 島 消防署	合 計	
		川越北 消防署	川越中央消 防署				
(1)	イ	劇場等	3			3	
	ロ	公会堂等	72	95	70	77	314
(2)	イ	キャバレー等					0
	ロ	遊技場等	6	13	7	1	27
	ハ	性風俗特殊営業店舗等					0
	ニ	カラオケボックス等		7	2		9
(3)	イ	料理店等					0
	ロ	飲食店	142	145	47	42	376
(4)		百貨店等	149	252	83	39	523
(5)	イ	旅館等	13	22	20		55
	ロ	共同住宅等	778	2,197	811	50	3,836
(6)	イ	病院等	43	61	36	10	150
	ロ	特別養護老人ホーム等	30	48	43	6	127
	ハ	老人デイサービスセンター等	79	123	76	10	288
	ニ	幼稚園等	21	21	11	2	55
(7)		学校	107	91	78	13	289
(8)		図書館等	9		1	2	12
(9)	イ	特殊浴場					0
	ロ	一般浴場	2	1			3
(10)		停車場等	1	7	1		9
(11)		神社・寺院等	49	48	16	20	133
(12)	イ	工場等	362	410	269	196	1,237
	ロ	スタジオ		2	1		3
(13)	イ	駐車場等	23	45	11	18	97
	ロ	航空機格納庫	1			3	4
(14)		倉庫	301	287	141	153	882
(15)		事務所等	386	589	268	172	1,415
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	269	438	106	26	839
	ロ	非特定複合用途防火対象物	93	220	69	14	396
(16-2)		地下街					0
(16-3)		準地下街					0
(17)		文化財	15			3	18
(18)		アーケード					0
(19)		市町村長の指定する山林					0
(20)		総務省令で定める舟車					0
合 計			2,954	5,122	2,167	857	11,100

防火対象物立入検査実施状況

平成4年4月1日～令和5年3月31日

防火対象物		署所(区域)					合計	
		消防局	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署		
(1)	イ	劇場等		2			2	
	ロ	公会堂等	4	4	4	3	17	
(2)	イ	キャバレー等		3			3	
	ロ	遊技場等		5	10	3	1	19
	ハ	性風俗特殊営業店舗等			1			1
	ニ	カラオケボックス等			1	2		3
(3)	イ	料理店等					0	
	ロ	飲食店	5	109	30	86	35	265
(4)		百貨店等	9	184	66	78	37	374
(5)	イ	旅館等	2	2	11	2		17
	ロ	共同住宅等	47	3	29	2		81
(6)	イ	病院等	5	21	33	20	7	86
	ロ	特別養護老人ホーム等	9	27	38	40	7	121
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	29	53	41	6	132
	ニ	幼稚園等	2	2	5	2	2	13
(7)		学校	2	8	18	7	2	37
(8)		図書館等						0
(9)	イ	特殊浴場						0
	ロ	一般浴場		1				1
(10)		停車場等	1					1
(11)		神社・寺院等			2			2
(12)	イ	工場等	11	28	37	22	38	136
	ロ	スタジオ						0
(13)	イ	駐車場等			2			2
	ロ	航空機格納庫					2	2
(14)		倉庫		17	14	6	15	52
(15)		事務所等	14	9	61	60	12	156
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	29	160	248	74	18	529
	ロ	非特定複合用途防火対象物	6	23	59	7	6	101
(16-2)		地下街						0
(16-3)		準地下街						0
(17)		文化財	2	1			2	5
(18)		アーケード						0
(19)		市町村長の指定する山林						0
(20)		総務省令で定める舟車						0
合計			151	638	722	455	207	2,173

※査察執行状況、消防用設備等完成検査、防火対象物使用前検査含む

防火管理資格取得者数及び再講習状況

消防局が開催している講習

各年度

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
甲種防火管理講習	5回 201人	4回 170人	-
乙種防火管理講習	2回 48人	2回 50人	2回 65人
甲種防火管理再講習	1回 26人	1回 21人	1回 25人

消防局の開催要望に基づき、(一財)日本防火・防災協会が開催している講習

各年度

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
甲種防火管理講習	-	-	6回
甲種・乙種防火管理併催講習	-	-	-
防火・防災管理併催講習	2回	2回	2回

広報活動の状況

防火教室・防火講話

令和4年4月1日～令和5年3月31日

消防局		川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
2回	65人	21回	2,609人	47回	7,576人	20回	1,152人	12回	1,385人	102回	12,787人

消防署見学・来署

令和4年4月1日～令和5年3月31日

川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
18回	1,138人	21回	1,364人	14回	919人	10回	231人	63回	3,652人

火災予防普及啓発映像貸出

各年度

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回数	16回	8回	7回
視聴者数	1,488人	194人	316人

危険物関係処理状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

区分		許可件数等			完成検査数		
		設置	変更	合計	設置	変更	合計
製造所			28	28		26	26
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	5	6	1	5	6
	屋外タンク貯蔵所		15	15		18	18
	屋内タンク貯蔵所			0			0
	地下タンク貯蔵所		7	7		8	8
	簡易タンク貯蔵所			0			0
	移動タンク貯蔵所	3		3	3		3
	屋外貯蔵所			0			0
	小計	4	27	31	4	31	35
取扱所	給油取扱所	1	27	28	1	22	23
	販売取扱所			0			0
	一般取扱所		10	10		11	11
	小計	1	37	38	1	33	34
合計		5	92	97	5	90	95

少量危険物等届出	炉ボイラー等届出	圧縮アセチレンガス等届出	仮貯蔵 仮取扱承認	仮使用承認	完成検査前検査	
					水張	水圧
47	37	40	2	77	0	

数量別危険物製造所等施設数

令和5年4月1日現在

区 分		倍 数									合 計
		5 倍以下	5 倍を超え 10 倍以下	10 倍を超え 50 倍以下	50 倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1,000倍以下	1,000倍を超え 5,000倍以下	5,000倍を超え 10,000倍以下	
製 造 所		1	7	8	9	3	2	3			33
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	60	42	26	8	18	2	10	7		173
	屋外タンク貯蔵所	13	12	43	19	5	3	9			104
	屋内タンク貯蔵所	15	5	1							21
	地下タンク貯蔵所	58	17	37	10	3	5	22			152
	簡易タンク貯蔵所	2									2
	移動タンク貯蔵所	28	1	6	9						44
	屋外貯蔵所	5	4	10							19
	小 計	181	81	123	46	26	10	41	7	0	515
取 扱 所	給油取扱所	1	4	31	6	4	2	36			84
	販売取扱所	1		1							2
	一般取扱所	38	35	23	11	1	1	3			112
	小 計	40	39	55	17	5	3	39	0	0	198
合 計		222	127	186	72	34	15	83	7	0	746

類別危険物施設状況

令和5年4月1日現在

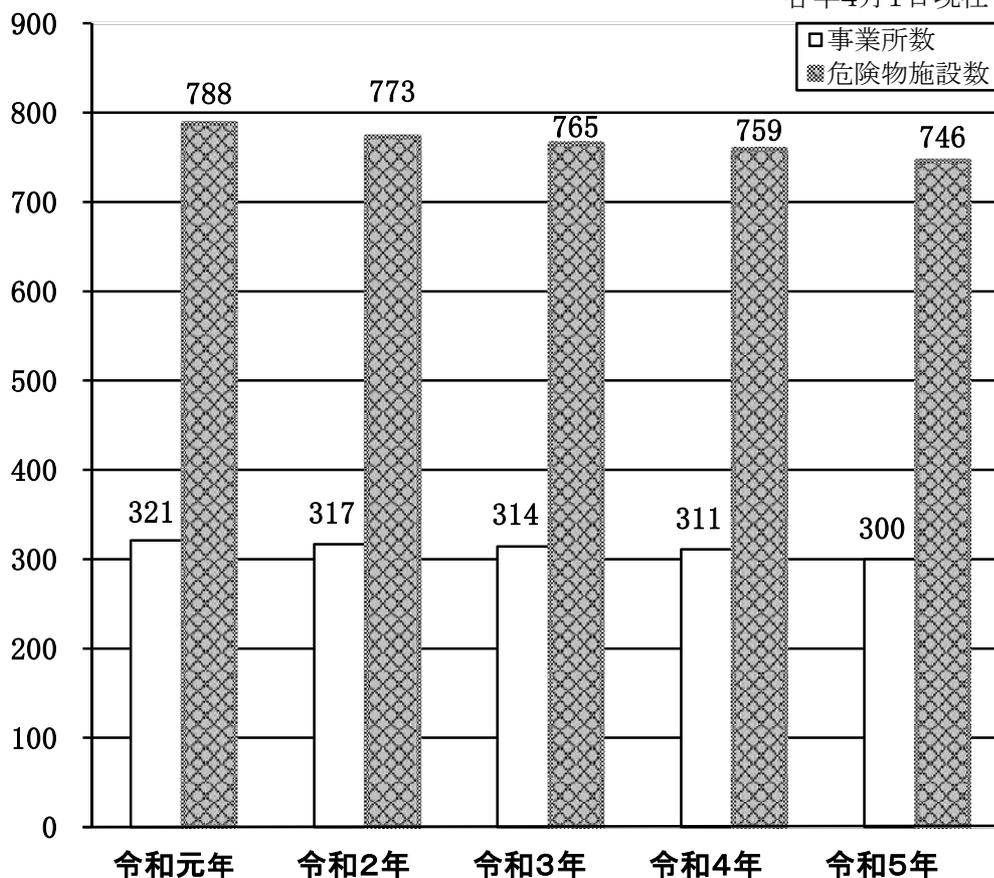
区分	類別	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在	合計
	製造所					17			16
貯蔵所	屋内貯蔵所	2			150	7		14	173
	屋外タンク貯蔵所				103	1			104
	屋内タンク貯蔵所				21				21
	地下タンク貯蔵所				152				152
	簡易タンク貯蔵所				2				2
	移動タンク貯蔵所				44				44
	屋外貯蔵所				19				19
	小計	2	0	0	491	8	0	14	515
取扱所	給油取扱所				84				84
	販売取扱所				2				2
	一般取扱所				102	1		9	112
	小計	0	0	0	188	1	0	9	198
合計	2	0	0	696	9	0	39	746	

備考 危険物貯蔵・取扱、類別の主な内訳

- 第1類 塩素酸ナトリウム、過塩素酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、無水クロム酸
- 第2類 硫黄、金属粉
- 第3類 ナトリウム、カリウム
- 第4類 ガソリン、灯油、軽油、重油、エチルアルコール
さく酸エチル、キシレン、トルエン
- 第5類 硝化綿、ニトロ化合物、アゾ化合物、ヒドロキシルアミン
- 第6類 濃硝酸、過酸化水素

危険物事業所・施設数の推移

各年4月1日現在



火薬類施設状況

令和5年4月1日現在

施設別	署別				
	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署	合計
火薬庫			7		7
火薬庫外貯蔵庫	1	6			7
販売所		1			1

火薬類申請届出等状況

令和5年4月1日現在

申請届出等種別	件数
火薬庫保安検査申請	1
定期自主検査計画届/報告書	3
火薬類安定度試験結果報告書	4
火薬類出納報告書	7
火薬類消費許可申請(煙火)	3
火薬類譲渡許可申請	1
火薬類販売報告書	1
その他の届出/報告書	6

警

防

所属別消防車両一覧表

令和5年4月1日現在

署所	号車	年式	購入年月日	自動車登録番号	備 考
消防局	指令1号車	28年	28・7・25	川越 800 さ 2377	
	指令2号車	28年	28・7・25	川越 800 さ 2378	
	指令3号車	27年	27・8・21	川越 800 さ 2139	
	指揮車	25年	25・3・15	川越 830 さ 2406	
	調査車	21年	22・1・20	川越 800 さ 909	
	連絡1号車	4年	4・8・8	川越 500 ね 934	
	連絡2号車	22年	22・3・26	川越 480 い 2623	
	連絡3号車	18年	18・10・24	川越 500 さ 568	
	連絡4号車	24年	24・9・26	川越 300 そ 8315	
	連絡5号車	27年	27・8・18	川越 300 ち 6918	
連絡6号車	2年	2・9・7	川越 480 か 3207		
赤バイ	17年	17・11・21	0川越 あ 1		
川越北消防署	化学車	26年	26・1・27	川越 830 さ 2504	1,500ℓ 薬液500ℓ
	1号車	27年	28・1・27	川越 830 さ 2706	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	17年	17・2・18	川越 830 せ 119	地上高 46.1m
	警防車	29年	29・3・10	川越 800 さ 2503	
	救急車	28年	28・11・8	川越 830 さ 2804	
	救急車	25年	25・1・31	川越 830 さ 2404	
	広報車	25年	25・8・15	川越 800 さ 1721	
	マイクロバス	19年	19・10・2	川越 200 さ 25	
南古谷分署	連絡車	22年	22・3・25	川越 480 い 2622	
	1号車	23年	23・1・24	川越 800 は 55	1,500ℓ
	2号車	27年	27・12・18	川越 830 す 2705	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	警防車	14年	14・12・2	川越 800 さ 110	
	救急車	2年	2・12・4	川越 830 さ 2003	
	救急車	5年	5・2・1	川越 830 た 2201	
川越中央消防署	広報車	27年	27・8・21	川越 800 さ 2140	
	化学車	29年	29・1・23	川越 830 さ 2807	1,500ℓ 薬液500ℓ
	1号車	2年	3・1・28	川越 830 さ 2004	1,300ℓ
	2号車	29年	29・12・14	川越 830 さ 2903	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	27年	27・3・13	川越 830 さ 2601	地上高30.5m
	救助工作車	24年	24・3・29	川越 830 す 2301	
	警防車	27年	27・11・13	川越 800 さ 2194	
	救急車	2年	2・11・16	川越 830 た 2002	
高階分署	救急車	29年	29・12・18	川越 830 さ 2902	
	広報車	28年	28・7・21	川越 800 さ 2373	
	連絡1号車	18年	18・12・4	川越 480 あ 776	
	連絡2号車	3年	3・11・24	川越 480 か 6209	
	1号車	22年	22・2・4	川越 800 は 47	1,500ℓ
	2号車	24年	25・1・15	川越 830 さ 2402	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
大東分署	はしご車	20年	20・2・29	川越 800 は 33	地上高15.3m 消防ポンプ付
	救急車	2年	2・10・22	川越 830 す 2001	
	広報車	18年	18・11・7	川越 800 さ 36	
	化学車	26年	26・2・6	川越 830 さ 2505	1,500ℓ 薬液500ℓ
	1号車	28年	29・1・12	川越 830 さ 2806	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	水槽車	23年	23・3・17	川越 800 は 58	5,000ℓ
川越西消防署	救急車	2年	2・1・30	川越 830 す 1901	
	広報車	22年	22・3・26	川越 800 さ 963	
	1号車	21年	21・2・18	川越 800 は 40	1,500ℓ
	2号車	30年	30・11・16	川越 830 す 1801	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	3号車	20年	20・2・27	川越 800 さ 470	
	はしご車	2年	2・2・25	川越 830 す 1902	地上高35.3m
名細分署	救急車	29年	29・11・9	川越 830 さ 2901	
	救急車	25年	25・2・14	川越 830 さ 2405	
	広報車	22年	22・3・26	川越 800 さ 964	
	連絡車	22年	22・3・25	川越 480 い 2624	
	1号車	30年	30・12・17	川越 830 さ 1803	1,500ℓ
	2号車	2年	2・12・24	川越 830 さ 2005	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	30年	30・3・6	川越 830 さ 2904	
	警防車	21年	21・3・3	川越 800 さ 712	
川島消防署	救急車	30年	30・12・11	川越 830 す 1802	
	救急車	5年	5・2・15	川越 830 す 2202	
	支援車	19年	19・2・28	川越 830 た 119	
	広報車	16年	16・3・29	川越 800 さ 124	
	1号車	31年	31・1・22	熊谷 830 す 1804	1,500ℓ
	2号車	28年	28・12・14	熊谷 830 そ 2805	600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
救助工作車	21年	21・2・23	熊谷 800 は 623		
警防車	22年	22・3・25	熊谷 800 す 2793		
救急車	31年	31・2・5	熊谷 830 そ 1805		
広報車	27年	27・8・21	熊谷 800 す 5606		
起震車	18年	18・1・31	熊谷 800 さ 9737		
連絡車	27年	27・7・24	熊谷 480 す 8524		

消防水利の状況

令和5年4月1日現在

市 町	地区名	消 火 栓 (基)	防 火 水 そ う (基)												プ ー ル ・ 池 等
			20t未満			20t以上 40t未満			40t以上			合計			
			公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	
川 越 市	市街地北部	877	19		19	28	5	33	48	158	206	95	163	258	10
	市街地南部	499	3		3	29	5	34	33	97	130	65	102	167	6
	芳野地区	304	2		2	31		31	38	28	66	71	28	99	2
	古谷地区	260	6	1	7	34	1	35	10	22	32	50	24	74	3
	南古谷地区	393			0	32	1	33	24	47	71	56	48	104	5
	高階地区	505	7		7	53	7	60	29	36	65	89	43	132	10
	福原地区	435	9		9	53	4	57	43	66	109	105	70	175	10
	大東地区	642	6		6	59	4	63	49	94	143	114	98	212	10
	山田地区	243			0	18	2	20	14	27	41	32	29	61	1
	名細地区	561			0	62	7	69	52	57	109	114	64	178	12
	霞ヶ関地区	905	9		9	54	1	55	100	73	173	163	74	237	13
	小計	5,624	61	1	62	453	37	490	440	705	1,145	954	743	1,697	82
川 島 町	中山地区	149			0	11	5	16	20	81	101	31	86	117	2
	伊草地区	96			0	13	3	16	19	16	35	32	19	51	2
	三保谷地区	74			0	3		3	5	10	15	8	10	18	2
	出丸地区	57			0	3		3	3	7	10	6	7	13	0
	八ッ保地区	74			0	1	1	2	3	12	15	4	13	17	1
	小見野地区	53			0	9		9	4	3	7	13	3	16	0
	小計	503	0	0	0	40	9	49	54	129	183	94	138	232	7
合計	6,127	61	1	62	493	46	539	494	834	1,328	1,048	881	1,929	89	

警防関係各種届出状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

届出区分	月													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
火災とまぎらわしい煙又は火災を發するおそれのある行為の届	9	8	21	12	8	17	23	28	40	28	20	11	225	
煙火打上げ・仕掛け届	0	0	1	2	2	0	4	1	0	0	0	0	10	
水道断減水届	5	26	16	1	2	2	1	2	0	0	2	0	57	
道路工事届	51	44	64	55	63	62	65	58	36	54	49	50	651	
合計	65	78	102	70	75	81	93	89	76	82	71	61	943	

事業所消防訓練派遣状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

事業所別	消火訓練		通報訓練		避難訓練		総合訓練		合計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
百貨店	0	0	0	0	0	0	3	590	3	590
学校	3	473	4	1,603	4	1,603	12	5,384	23	9,063
工場・作業場	7	155	7	223	5	206	16	2,351	35	2,935
その他	34	2,220	21	1,338	24	1,635	177	10,385	256	15,578
合計	44	2,848	32	3,164	33	3,444	208	18,710	317	28,166

※表中の数値は、消防職員を派遣した事業所の消防訓練の回数と、当該訓練に参加した事業所の関係者の延人員です。

中高層建築物の状況

令和5年4月1日現在

階数		4階		5階		6階		7階		8階		9階		10階		11階		12階		13階		14階		15階		合計	
		川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島	川越	川島		
1	イ 劇場、映画館 演芸場、観覧場																										
	ロ 公会堂、集会場	2																								2	
2	イ キャバレー、カフェー ナイトクラブ	1 (1)																								1 (1)	
	ロ 遊技場、 ダンスホール	3		1																						4	
	ハ 風俗関連特殊営業 を営む店舗																										
ニ カブオケボックス、複合 カフェ、個室ビデオ等			1 (1)																							1 (1)	
3	イ 待合、料理店																										
	ロ 飲食店	2		2		1 (1)																				5 (1)	
4	百貨店、マーケット、店舗	7 (4)		2				1																		10 (4)	
5	イ 旅館、ホテル 宿泊所	3 (1)		8 (4)		2 (1)		1			1		2 (1)		1											18 (7)	
	ロ 寄宿舎、下宿 共同住宅	238 (119)		227 (55)	1	51 (15)		36 (11)		44 (15)		20 (12)		16 (10)		19 (10)		9 (3)		6 (2)		14 (6)		21 (6)		702 (264)	
6	イ 病院、診療所 助産所	10 (3)		8 (1)		3		1			1		2													25 (4)	
	ロ 特別養護老人ホーム 認 知症グループホーム等	6 (1)		2 (2)		1																				9 (3)	
	ハ 児童福祉施設、老人 デイサービスセンター等	1 (1)		1 (1)																							2 (2)
	ニ 幼稚園 特別支援学校																										
7	小、中、高、大学校等	70 (5)		17 (3)		3		3					1													94 (8)	
8	図書館、博物館 美術館	1 (1)																								1 (1)	
9	イ 蒸気、熱気浴場等																										
	ロ その他の公衆浴場																										
10	車両の停車場等																										
11	神社、寺院、教会																										
12	イ 工場、作業所	31 (3)		7	2	2				1																43 (3)	
	ロ 映画スタジオ テレビスタジオ																										
13	イ 自動車車庫	3 (1)																								3 (1)	
	ロ 格納庫																										
14	倉庫	17 (1)	2	5	3																					27 (1)	
15	各項に該当しない 事業所	50 (14)	2	26 (5)	3	9 (2)		8 (3)		5 (1)		2														105 (25)	
16	イ 特定用途複合用途防 火対象物	89 (32)		56 (23)		38 (15)		21 (8)		14 (3)		8 (3)		1 (1)		4 (2)				1				1		233 (87)	
	ロ その他複合用途防 火対象物	45 (32)	1	24 (12)		14 (8)	1	7 (3)		4 (3)		1 (1)		2 (2)		1					4					104 (61)	
一般住宅																											
合計		579 (219)	5	387 (107)	9	124 (42)	1	78 (25)		68 (22)		33 (16)		24 (14)		25 (12)		9 (3)		7 (2)		18 (6)		22 (6)		1,389 (474)	

※ ()内数値は、はしご車部署不能数

※ 防火対象物の別覧については、消防法施行令別表第1参照

火災出場の状況

令和4年中

署所 月	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
1月	8	24	14	55	3	16	7	49	6	34	7	48	7	24	7	45	2	14	61	309
2月	4	12	4	16	1	7	5	52	4	21	5	29	2	7	1	7	1	4	27	155
3月	5	15	5	29	3	14	3	35	2	12	3	18	2	6	4	21			27	150
4月	6	19	4	26	2	10	6	53	4	26	4	28	2	8	2	8	2	10	32	188
5月	3	9	2	14			4	32	1	7	2	8	1	8	1	10	1	4	15	92
6月	1	3	1	4			1	11	2	13	1	6	4	17					10	54
7月	7	21	7	44	3	20	5	51	4	21	4	15	2	7	4	22	1	4	37	205
8月	5	15	3	19	2	15	4	31	3	16	4	21	4	14	3	25	1	7	29	163
9月	4	12	4	18	2	9	4	33	3	20	2	9	2	13	3	14	1	8	25	136
10月	1	3	3	12	1	7	1	13	2	12	1	3					1	7	10	57
11月	4	12	4	25	1	7	2	23	2	7	2	14	6	23	2	15	1	6	24	132
12月	3	9	8	37			1	11	1	4	4	21	6	33	3	33	1	7	27	155
合計	51	154	59	299	18	105	43	394	34	193	39	220	38	160	30	200	12	71	324	1,796

その他出場の状況

令和4年中

署所 種別	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
風水害等			4	14			4	15	2	6	2	6			2	10			14	51
演習・訓練	9	27	5	28	21	92	10	50	7	16	7	25	4	32	5	29	7	55	75	354
広報・指導	5	10	31	120	35	111	44	154	50	169	47	172	47	179	57	218	69	240	385	1,373
警防調査			61	225	49	152	62	204	59	203	60	188	73	265	46	141	39	136	449	1,514
火災調査	47	117	20	96	4	16	7	31	8	44	19	79	15	69	8	37	11	45	139	534
特別警戒	5	11	46	167	18	64	9	39	14	47	26	87	23	85	58	212	5	19	204	731
捜索			2	7			2	8			1	3	1	3	4	42	14	91	24	154
予防査察	262	528	51	165	92	294	247	637	71	226	74	187	187	480	64	192	107	315	1,155	3,024
誤報等	41	124	66	303	27	145	48	369	62	260	50	226	9	39	36	226	16	70	355	1,762
その他	25	73	306	1,128	162	547	355	1,408	351	1,211	289	1,058	707	1,580	558	1,802	611	1,422	3,364	10,229
合計	394	890	592	2,253	408	1,421	788	2,915	624	2,182	575	2,031	1,066	2,732	838	2,909	879	2,393	6,164	19,726

現有消防機器

令和5年4月1日現在

区分	器具	署所									合計
		消防局	川越北消防署	南古谷分署	川越中央消防署	高階分署	大東分署	川越西消防署	名細分署	川島消防署	
放水器具	ガンタイプノズル		5	5	11	5	6	8	7	5	52
	無反動ノズル		7	5	6	7	8	11	4	4	52
	放水銃		3		3	1	1	1			9
	東消式簡易発泡器		1	1	1		1				4
	ピックアップ式泡ノズル			1				1	1	1	4
	エアフォームノズル		3		3		3				9
救助器具	救命索発射銃				1				1	1	3
	可搬式ウインチ		2		1				1	3	7
	油圧ジャッキ				2				2	1	5
	マット型空気ジャッキ				1				1	1	3
	大型油圧スプレッダー				1				1	1	3
	画像探索機				1						1
	簡易画像探索機				1				1	1	3
	熱画像直視装置	1	2	1	2	1	1	1	2	2	13
	地中音響探知機				1						1
	夜間用暗視装置				2				1	1	4
	二酸化炭素探査装置				1						1
	地震警報器				1						1
	電磁波探査装置				2						2
破壊器具	エンジンカッター		2	1	4	1	1	2	3	2	16
	チェーンソー		2	1	3	1	1	2	2	3	15
	大型油圧切断機				1				1	1	3
	エアカッター				2				2		4
	エアソー				1				1	2	4
	ハンマードリル				2				3	2	7
	削岩機				1				1	1	3
	酸素溶断機				1				1	1	3
水難救助器具	救命ボート		1	1	1				3	1	7
	船外機		1	2	1				2	1	7
	潜水器具								15		15
	人命検索スバリ		5	2	2				1	2	12
身体保護器具	空気呼吸器	2	16	10	24	15	11	19	16	16	129
	酸素呼吸器				5				5	5	15
	陽圧式化学防護服				10				5	10	25
	耐熱防護服		2	2	4	2	2	2	2	2	18
	放射線防護服				5				5	5	15
	耐電用防護服		4		6	4		4	2	2	22
測定器	ガス検知器		1	1	2	1	1	1	2	2	11
	放射線測定器		3	2	5	1	1	2	4	4	22
	ポケット線量計		5	5	15	5	5	5	13	10	63
その他	除染シャワー		1		1				1	1	4
	除染材散布器		2		4				2		8
	エアータント		2	2					3		7

指

令

無線局一覽

令和5年4月1日現在

基地局名称	移動局	アナログ種別	デジタル種別	出力	通信方式
かわごえしゅうぼう デジタル基地局 1 (12装置)	車両無線機 積載台数56台 デジタル移動局 121局 (車載57局)、(可搬10局) (携帯54局) アナログ移動局 93局 (署活93局)	署活系 1 2 共通 その他 ※	統制波	アナログ無線 署活携帯 1W	デジタル基地局 10W
			主運用波		アナログ 1波単信
			活動波		デジタル移動局 車載 5W 可搬 5W 携帯 2W
					デジタル 2波複信

※ アナログ種別署活系に記載のその他は、緊援波G1からG17を搭載

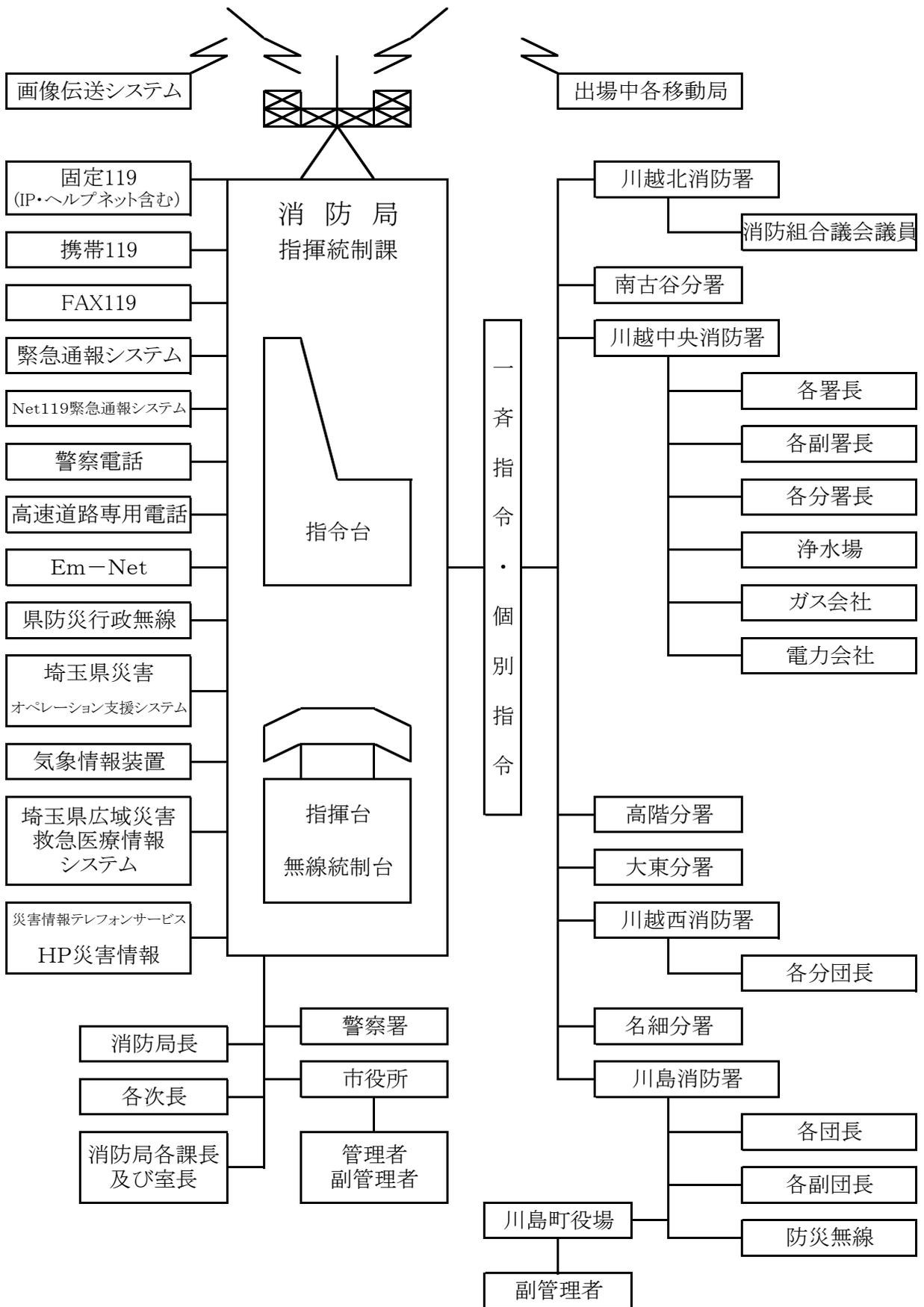
移動局呼出名称

署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称
消防局	1	かわごえしらい	南古谷分署	1	みなみふるやしき(可搬)	高階分署	1	たかしなしき(可搬)	名細分署	1	なぐわししき(可搬)
	2	かわごえしらい		2	みなみふるや		2	たかしなし		2	なぐわし
	3	かわごえしらい		3	みなみふるや		3	たかしなし		3	なぐわし
	4	かわごえしき(車載)		4	みなみふるやけいぼう		4	たかしなしはしご		4	なぐわしきゆうじよ
	5	かわごえしき(車載)		5	みなみふるやこうほう		5	たかしなこうほう		5	なぐわしけいぼう
	6	かわごえしき(可搬)		6	みなみふるやきゆうきゆう		6	たかしなききゆうきゆう		6	なぐわしこうほう
	7	かわごえしき(可搬)		7	みなみふるやきゆうきゆう		7	たかしなし		7	なぐわしきゆうきゆう
	8	かわごえちようさ		8	みなみふるや		8	たかしなし		8	なぐわしきゆうきゆう
	9	かわごえしき		9	みなみふるや		9	たかしなし		9	かわごえしえん
	10	かわごえしき		10	みなみふるや		10	たかしなし		10	なぐわし
	11	かわごえちようさ		11	みなみふるや		11	たかしなし		11	なぐわし
	12	かわごえしらい			1	だいでうしき(可搬)	1	なぐわし			
	13	かわごえしらい			2	だいでうかがく	1	なぐわし			
	14	かわごえしらい			3	だいでう	1	なぐわし			
	15	かわごえしらい			4	だいでうすいそう	1	なぐわし			
	16	かわごえしらい			5	だいでうこうほう	1	なぐわし			
川越北消防署	1	かわごえちゆうおうしき(可搬)	川越中央消防署	1	かわごえちゆうおうしき(可搬)	川越西消防署	1	かわごえにししき(可搬)	川島消防署	1	かわじましき(可搬)
	2	かわごえちゆうおうかがく		2	かわごえちゆうおうはしご		2	かわごえにし		2	かわじま
	3	かわごえちゆうおう		3	かわごえちゆうおうけいぼう		3	かわごえにし		3	かわじま
	4	かわごえちゆうおう		4	かわごえちゆうおうこうほう		4	かわごえにし		4	かわじま
	5	かわごえちゆうおう		5	かわごえちゆうおうきゆうきゆう		5	かわごえにし		5	かわじま
	6	かわごえちゆうおう		6	かわごえちゆうおうきゆうきゆうじよ		6	かわごえにし		6	かわじま
	7	かわごえちゆうおう		7	かわごえちゆうおうはしご		7	かわごえにし		7	かわじま
	8	かわごえちゆうおう		8	かわごえちゆうおうけいぼう		8	かわごえにし		8	かわじま
	9	かわごえちゆうおう		9	かわごえちゆうおうこうほう		9	かわごえにし		9	かわじま
	10	かわごえちゆうおう		10	かわごえちゆうおうきゆうきゆう		10	かわごえにし		10	かわじま
	11	かわごえちゆうおう		11	かわごえちゆうおう		11	かわごえにし		11	かわじま
	12	かわごえちゆうおう		12	かわごえちゆうおう		12	かわごえにし		12	かわじま
	13	かわごえちゆうおう		13	かわごえちゆうおう		13	かわごえにし		13	かわじま
	14	かわごえちゆうおう		14	かわごえちゆうおう		14	かわごえにし		14	かわじま
	15	かわごえちゆうおう		15	かわごえちゆうおう		15	かわごえにし		15	かわじま
	16	かわごえちゆうおう		16	かわごえちゆうおう		16	かわごえにし		16	かわじま
	17	かわごえちゆうおう		17	かわごえちゆうおう		17	かわごえにし		17	かわじま
	18	かわごえちゆうおう		18	かわごえちゆうおう		18	かわごえにし		18	かわじま
	19	かわごえちゆうおう		19	かわごえちゆうおう		19	かわごえにし		19	かわじま

移動局(署活系無線機)呼出名称

署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称
消防局	1	かわごえしき	川越中央消防署	1	かわごえちゆうおう	川越西消防署	6	だいでう	川島消防署	1	かわじま
	2	かわごえしき		2	かわごえちゆうおう		7	だいでう		2	かわじま
	3	かわごえしき		3	かわごえちゆうおう		8	だいでうきゆうきゆう		3	かわじま
	4	かわごえちようさ		4	かわごえちゆうおう		9	だいでうきゆうきゆう		4	かわじま
	5	かわごえちようさ		5	かわごえちゆうおう		10	かわごえにし		5	かわじま
	6	かわごえしらい		6	かわごえちゆうおう		11	かわごえにし		6	かわじま
	7	かわごえしらい		7	かわごえちゆうおう		12	かわごえにし		7	かわじま
	8	かわごえしらい		8	かわごえちゆうおう		13	かわごえにし		8	かわじま
	9	かわごえしらい		9	かわごえちゆうおう		14	かわごえにし		9	かわじま
	10	かわごえしらい		10	かわごえちゆうおうきゆうきゆうじよ		15	かわごえにし		10	かわじま
	11	かわごえしらい		11	かわごえちゆうおうきゆうきゆうじよ		16	かわごえにし		11	かわじま
川越北消防署	1	かわごえちゆうおう	高階分署	1	たかしなし	名細分署	1	なぐわし	大東分署	1	なぐわし
	2	かわごえちゆうおう		2	たかしなし		2	なぐわし		2	なぐわし
	3	かわごえちゆうおう		3	たかしなし		3	なぐわし		3	なぐわし
	4	かわごえちゆうおう		4	たかしなし		4	なぐわし		4	なぐわし
	5	かわごえちゆうおう		5	たかしなし		5	なぐわし		5	なぐわし
	6	かわごえちゆうおう		6	たかしなし		6	なぐわし		6	なぐわし
	7	かわごえちゆうおう		7	たかしなし		7	なぐわし		7	なぐわし
	8	かわごえちゆうおう		8	たかしなし		8	なぐわし		8	なぐわし
	9	かわごえちゆうおう		9	たかしなし		9	なぐわし		9	なぐわし
南古谷分署	1	みなみふるや	大東分署	1	だいでう		1	なぐわし		1	なぐわし
	2	みなみふるや		2	だいでう		2	なぐわし		2	なぐわし
	3	みなみふるや		3	だいでう		3	なぐわし		3	なぐわし
	4	みなみふるや		4	だいでう		4	なぐわし		4	なぐわし
	5	みなみふるや		5	だいでう		5	なぐわし		5	なぐわし
	6	みなみふるや		6	だいでう		6	なぐわし		6	なぐわし
	7	みなみふるや		7	だいでう		7	なぐわし		7	なぐわし
	8	みなみふるや		8	だいでう		8	なぐわし		8	なぐわし
	9	みなみふるや		9	だいでう		9	なぐわし		9	なぐわし

消防通信系統図



通信施設の状況

令和5年4月1日現在

	合計	消防局	南古谷 分署	川越中央 消防署	高階分署	大東分署	川越西 消防署	名細分署	川島消防署
		川越北消防署							
指令専用回線	8	1	1	1	1	1	1	1	1
内線専用回線	32	4	4	4	4	4	4	4	4
駆け付け通報装置	8	1	1	1	1	1	1	1	1
119回線 固定電話 (IP・ヘルプネット含む)	8	8							
衛星通信専用回線	2	2							
携帯119受信回線	4	4							
携帯119転送回線	2	2							
緊急通報システム	2	2							
一般回線	18	8	1	2	1	1	2	1	2
携帯電話機	38	9	4	6	3	3	4	5	4
衛星可搬端末機	9	5		1			1		2
FAX専用回線	12	5	1	1	1	1	1	1	1
指令台専用回線	2	2							
メンテナンス回線	1	1							
警察電話	1	1							
高速道路専用電話	1	1							
災害情報テレホンサービス	1	1							
市役所庁内電話	5	5							
消防無線電話	214	49	20	34	19	19	24	27	22
ヘリテレ画像受信装置	2	2							
Em-Net	3	2							1
Net119緊急通報システム	1	1							
IP無線	2	2							

* 災害情報テレホンサービス

川越地区消防組合管内の火災等の災害情報を提供しています。

電話番号:0180-994-310 (令和5年7月1日から049-227-2277に変更となります。)

119番受信回数

令和4年中

種別 月	合計	火災	救急	救助	警戒	その他							
						病院案内	いたずら	誤報	同報	通報訓練	回線試験	転送	その他
合計	30,532	181	20,389	121	307	532	343	1,085	834	814	565	714	4,647
1月	2,553	25	1,683	8	30	44	35	101	69	22	49	54	433
2月	2,263	15	1,491	9	30	30	25	72	76	50	26	66	373
3月	2,337	16	1,530	10	21	39	47	69	50	86	52	47	370
4月	2,181	19	1,422	11	20	26	28	95	75	48	69	60	308
5月	2,297	9	1,611	13	12	39	22	98	62	72	46	41	272
6月	2,461	13	1,644	10	18	46	42	86	66	73	40	67	356
7月	3,141	16	2,136	8	46	66	13	81	85	56	49	84	501
8月	2,768	13	1,875	15	26	63	18	86	76	22	46	62	466
9月	2,463	17	1,627	8	28	32	20	115	64	86	75	50	341
10月	2,468	13	1,625	10	31	47	42	86	43	93	47	51	380
11月	2,589	14	1,680	10	25	38	45	79	66	131	31	64	406
12月	3,011	11	2,065	9	20	62	6	117	102	75	35	68	441

携帯119番受信状況

令和4年中

種別 月	合計	火災	救急	救助	警戒	その他							
						病院案内	いたずら	誤報	同報	通報訓練	回線試験	転送	その他
合計	15,440	91	10,252	51	108	411	330	712	476	78	21	691	2,219
1月	1,231	12	810	3	10	33	34	63	41	3	4	52	166
2月	1,100	8	718	2	12	28	22	50	43	2	1	60	154
3月	1,162	10	767	3	9	28	46	44	28	6	1	45	175
4月	1,059	11	702	4	10	20	27	48	44	4	2	60	127
5月	1,130	3	794	7	3	31	22	58	39	8	2	40	123
6月	1,269	5	856	4	5	34	41	57	33	6		67	161
7月	1,701	7	1,129	3	22	49	13	61	54	8	3	83	269
8月	1,528	6	1,014	8	9	49	18	66	47	1	1	59	250
9月	1,226	11	842	4	7	22	18	71	26	10		48	167
10月	1,254	4	833	5	12	39	42	59	30	7	6	47	170
11月	1,264	7	840	3	8	31	42	51	41	11	1	63	166
12月	1,516	7	947	5	1	47	5	84	50	12		67	291

緊急通報システム受信状況

令和4年中

種	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火 災														0
救 急		15	11	3	4	2	4	12	1	5	5	5	3	70
警戒等		2	6	3	4	1	1	1	3	3	3	6	6	39
相 談		1	1	3		1	3	7	5	11	2	3	4	41
その他	誤 報	20	4	9	12	9	15	18	9	13	15	18	34	176
	テスト通報	16	7	16	102	12	19	23	35	136	161	164	155	846
	電池切れ	5	4	3	4	1	5	3	1	1	4	1	12	44
	その他	8	2	1	1				2			1	6	21
合 計		67	35	38	127	26	47	64	56	169	190	198	220	1,237

病院照会に関する記録

令和4年中

	119番	携帯119番	一般加入	その他	合 計
小児科	2	72	6		80
内 科	57	178	14		249
歯 科	3	5	1		9
産婦人科		2			2
外 科	21	47	5		73
耳鼻科	3	10			13
眼 科	3	11			14
脳外科	5	20			25
その他	27	66	8		101
小 計	121	411			
合 計	532		34	0	566

気象状況表

令和4年中

区分 月	温度(°C)			湿度(%)			
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	平均実効湿度
1月	13.9	-5.7	3.9	93.3	18.3	46.9	47.4
2月	15.9	-4.5	4.2	94.1	13.0	49.1	48.9
3月	25.0	-0.2	10.3	95.0	13.0	56.7	54.7
4月	29.0	1.9	15.1	97.2	20.5	67.1	66.7
5月	33.2	7.9	18.7	97.4	13.6	66.8	66.6
6月	38.9	14.0	23.4	96.6	20.8	69.6	70.9
7月	39.4	21.5	27.7	97.5	26.3	73.0	71.9
8月	39.4	18.7	27.7	97.7	30.0	73.3	72.2
9月	33.3	16.1	24.2	97.7	30.8	76.5	77.4
10月	31.3	6.0	16.6	97.4	25.0	73.5	73.6
11月	23.0	5.1	13.3	96.1	28.3	68.9	68.1
12月	17.7	-3.8	6.1	96.9	10.8	59.2	60.3
	年最高	年最低	年平均	年最高	年最低	年平均	年平均
	39.4	-5.7	16.0	97.7	10.8	65.1	65.0

令和4年中

区分 月	風速(m/s)		降雨(mm)		
	最大	平均	降雨日	降雨量	日最高
1月	21.4	2.4	3	9.0	7.5
2月	19.3	2.3	6	42.0	20.5
3月	18.4	2.2	7	71.5	37.5
4月	16.6	2.2	15	155.5	32.5
5月	14.4	2.2	14	95.0	34.5
6月	16.8	2.2	12	72.5	39.0
7月	14.0	2.3	12	222.0	131.0
8月	16.5	2.2	13	93.0	49.5
9月	19.5	2.1	9	218.5	57.5
10月	12.0	1.6	13	108.0	41.5
11月	17.9	1.6	6	50.0	36.0
12月	17.2	1.6	6	36.0	19.0
	年最大	年平均	合計	合計	日最高
	21.4	11.0	116	1,173.0	131.0

火

災

令和4年中の火災概要

1 火災件数

令和4年中の火災件数は99件で、前年に比較して15件増加している。

また、出火率(人口1万人あたりの出火件数)は約2.7件となっている。

火災種別の構成比は、建物火災が全体の約57.6%(57件)で、最も高い比率を占めている。

次いで、その他火災(屋外のゴミ屑や枯草等)の約30.3%(30件)、車両火災の約12.1%(12件)となっている。

特に建物火災57件のうち、住宅・共同住宅における火災が71.9%(41件)を占めている。

2 損害額

損害額は7,669万6千円で、前年と比較し1億717万5千円の減少となり、このうち建物火災の損害額は6,958万8千円で、全体の約90.7%を占めている。

なお、建物火災の損害額は、建物火災1件あたり約122万1千円で、1日あたりでは約19万1千円となっている。

3 建物焼損面積

建物焼損床面積は919㎡で、前年と比較して956㎡の減少となり、建物火災1件あたりの焼損床面積は約16.1平方メートルで、前年と比較して21.4㎡の減少となっている。

4 出火原因

出火原因は多い順に、放火が27件(約27.2%)、たばこが16件(約16.1%)、放火の疑いが8件(約8%)となっている。

5 死傷者

火災による死者は11人発生し、前年と比較して8人の増加となっている。

負傷者は10人発生し、前年と比較して4人の増加となっている。

火災の概況

令和4年中

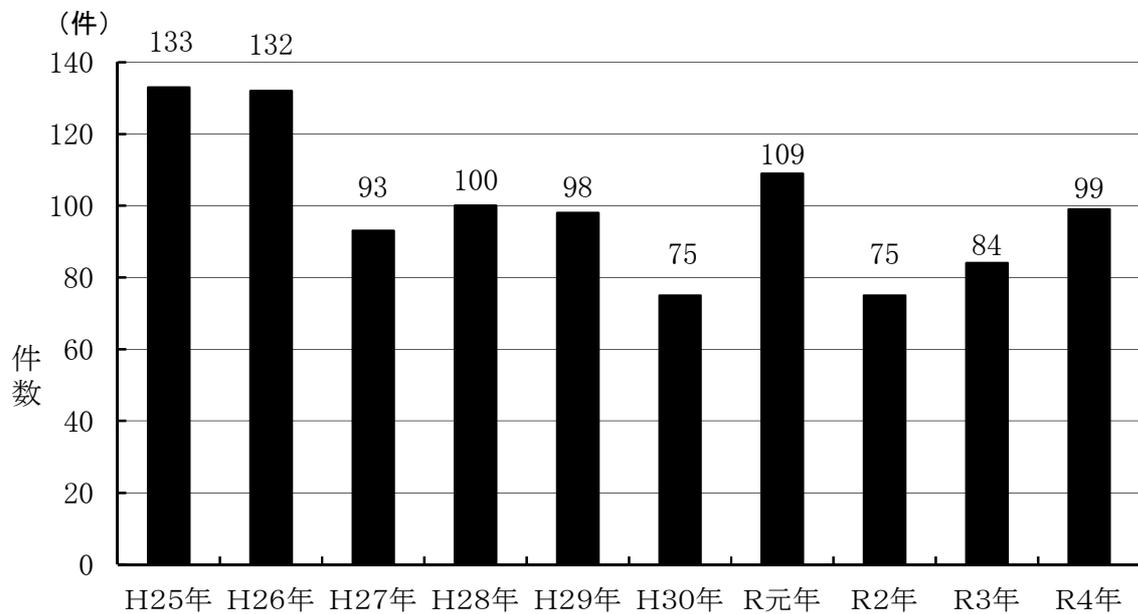
	川越地区	川越市	川島町
火災件数	99件	85件	14件
建物	57件	51件	6件
林野	0件	0件	0件
車両	12件	9件	3件
船舶	0件	0件	0件
航空機	0件	0件	0件
その他	30件	25件	5件
焼損棟数	78棟	68棟	10棟
全焼	10棟	6棟	4棟
半焼	0棟	0棟	0棟
部分焼	35棟	31棟	4棟
ぼや	33棟	31棟	2棟
建物焼損床面積	919 m ²	863 m ²	56 m ²
建物焼損表面積	659 m ²	630 m ²	29 m ²
林野焼損面積	0 a	0 a	0 a
死傷者	21人	19人	2人
死者	11人	10人	1人
負傷者	10人	9人	1人
り災世帯	61世帯	56世帯	5世帯
全損	11世帯	9世帯	2世帯
半損	1世帯	1世帯	世帯
小損	49世帯	46世帯	3世帯
り災人員	133人	123人	10人
損害額	76,696千円	73,529千円	3,167千円
建物			
建築物	62,399千円	60,069千円	2,330千円
収容物	7,189千円	6,617千円	572千円
林野	0千円	0千円	0千円
車両	5,609千円	5,470千円	139千円
航空機	0千円	0千円	0千円
その他	1,499千円	1,373千円	126千円
出火率	2.7件	2.4件	7.2件

※ 出火率は人口1万人当りの火災件数

火災件数の推移（10年間）

各年

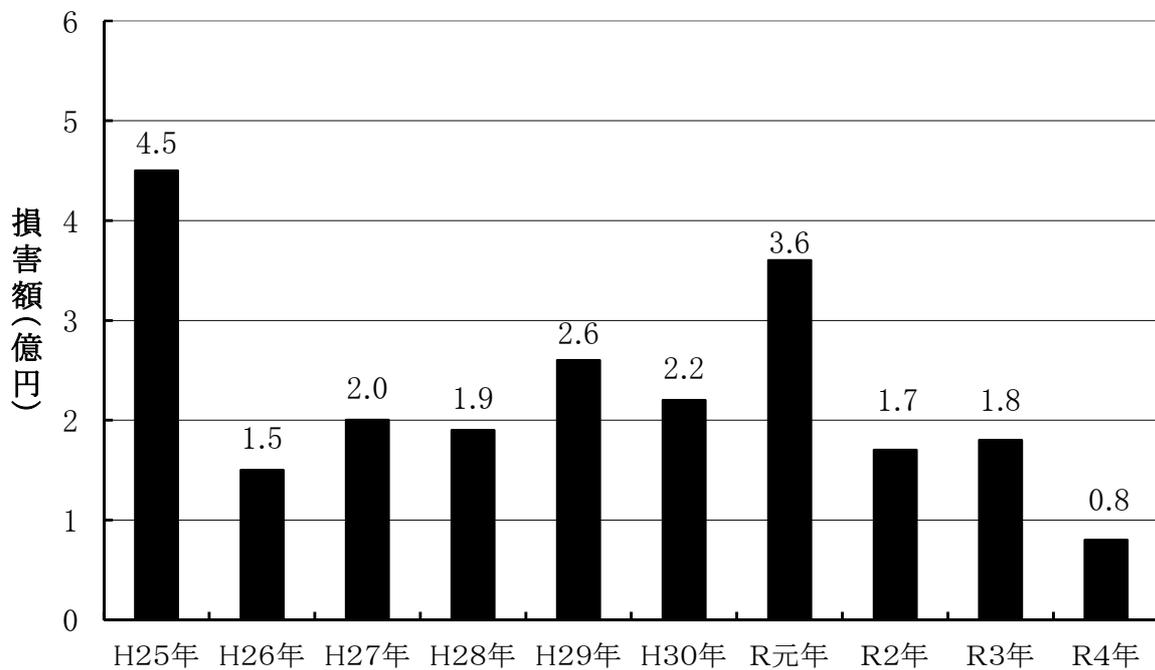
	川越地区							川越市							川島町							
	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
H25年	133	70		7			56	114	66		7			41	19	4						15
H26年	132	62		15			55	118	52		14			52	14	10		1				3
H27年	93	49		8			36	75	42		8			25	18	7						11
H28年	100	51		14			35	87	44		13			30	13	7		1				5
H29年	98	60		6			32	82	54		4			24	16	6		2				8
H30年	75	38		13			24	65	34		11			20	10	4		2				4
R元年	109	65		10			34	88	59		7			22	21	6		3				12
R2年	75	54		8			13	64	47		6			11	11	7		2				2
R3年	84	50		11			23	74	44		9			21	10	6		2				2
R4年	99	57		12			30	85	51		9			25	14	6		3				5



火災損害状況の推移（10年間）

各年（単位：千円）

	川越地区	川越市	川島町
H25年	446,486	437,757	8,729
H26年	150,795	109,810	40,985
H27年	200,017	188,405	11,612
H28年	189,396	159,212	30,184
H29年	262,990	224,956	38,034
H30年	215,475	155,279	60,196
R元年	355,364	313,055	42,309
R2年	172,251	161,641	10,610
R3年	183,871	153,451	30,420
R4年	76,696	73,529	3,167

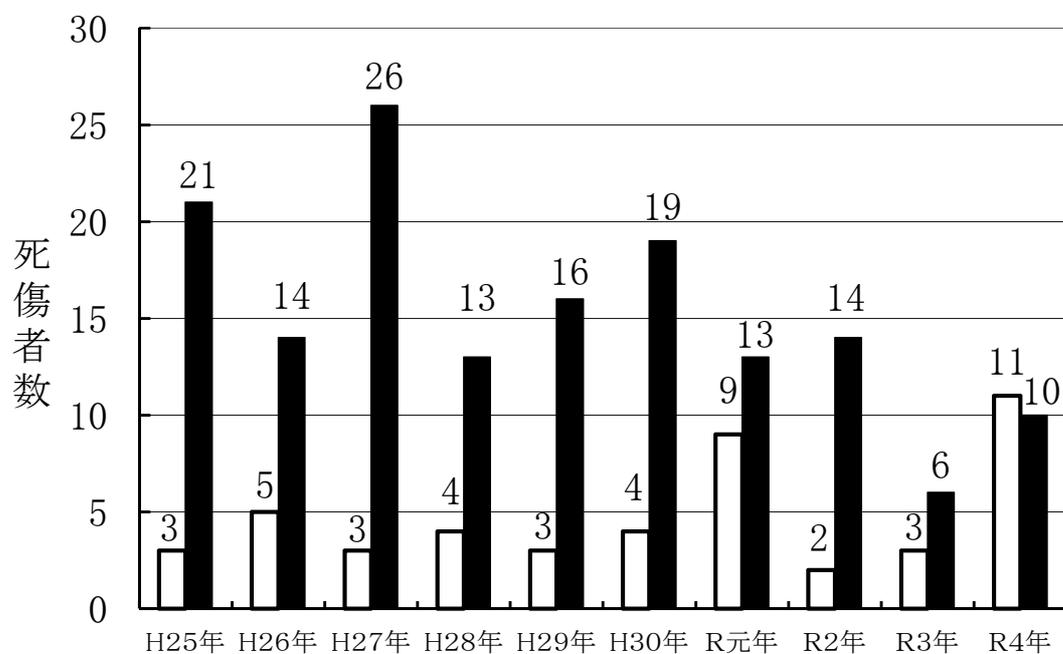


※グラフは単位未満、小数点第2位を四捨五入した数値です。

火災による死傷者の推移（10年間）

各年(単位:人)

	川越地区		川越市		川島町	
	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
H25年	3	21	3	21		
H26年	5	14	5	13		1
H27年	3	26	3	24		2
H28年	4	13	4	12		1
H29年	3	16	2	15	1	1
H30年	4	19	3	18	1	1
R元年	9	13	9	11		2
R2年	2	14	2	14		
R3年	3	6	3	6		
R4年	11	10	10	9	1	1



□川越地区死者 ■川越地区負傷者

地区別の出火原因

令和4年中(単位:件)

	本庁管内	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	山田	名細	霞ヶ関	川島	合計
たばこ	4	1	1		2	2	1		1	3	1	16
こんろ	2						1			1		4
かまど												0
風呂かまど												0
炉	1											1
焼却炉												0
ストーブ										1		1
こたつ												0
ボイラー												0
排気管												0
電気機器	1								1	1	2	5
電気装置			1					1	1			3
電灯・電話等の配線									1		1	2
内燃機関												0
配線器具		1					2					3
火あそび												0
マッチ・ライター	1				2		1					4
たき火											2	2
溶接機・切断機						1						1
灯 火												0
衝突の火花										1		1
取 灰					1		1					2
火 入 れ	2	1									1	4
放 火	9	2	2		5		1		2	3	3	27
放火の疑い	4				1	1	1		1			8
その他	5						2	1	1	1	4	14
不 明		1										1
合 計	29	6	4	0	11	4	10	2	8	11	14	99

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

出火原因別火災件数の推移（10年間）

各年

\	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
たばこ	9	5	10	10	13	8	17	8	12	16
こんろ	10	9	10	3	9	5	2	8	5	4
かまど							2			
風呂かまど										
炉					1				1	1
焼却炉	4	1			3	1	1	1		
ストーブ	1	4	4	1	5	2	5	4	5	1
こたつ										
ボイラー										
排気管	2	4		7	1	3	2	1	1	
電気機器	3	1	2	2	3	2	8	6	3	5
電気装置	1	1	2		1	1	2	1	4	3
電灯・電話等の配線	2	2	3	2	3	3	8	3	6	2
内燃機関								1		
配線器具	5	7	1	2	5	4	3	2	2	3
火あそび	3	1	1		2	2	1	3		
マッチ・ライター	3	3	1		1	1		1	1	4
たき火					1		6	1	6	2
溶接機・切断機				1		1				1
灯火	4		1	1		1	1	3	1	
衝突の火花	1		1		1	1				1
取灰	1			1		1				2
火入れ	7	3	3	4	4	2	6	2		4
放火	6	36	12	22	10	11	10	6	9	27
放火の疑い	33	21	16	16	12	5	5	5	3	8
その他	29	23	17	19	18	15	25	15	24	14
不明	9	11	9	9	5	6	5	4	1	1
合計	133	132	93	100	98	75	109	75	84	99

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

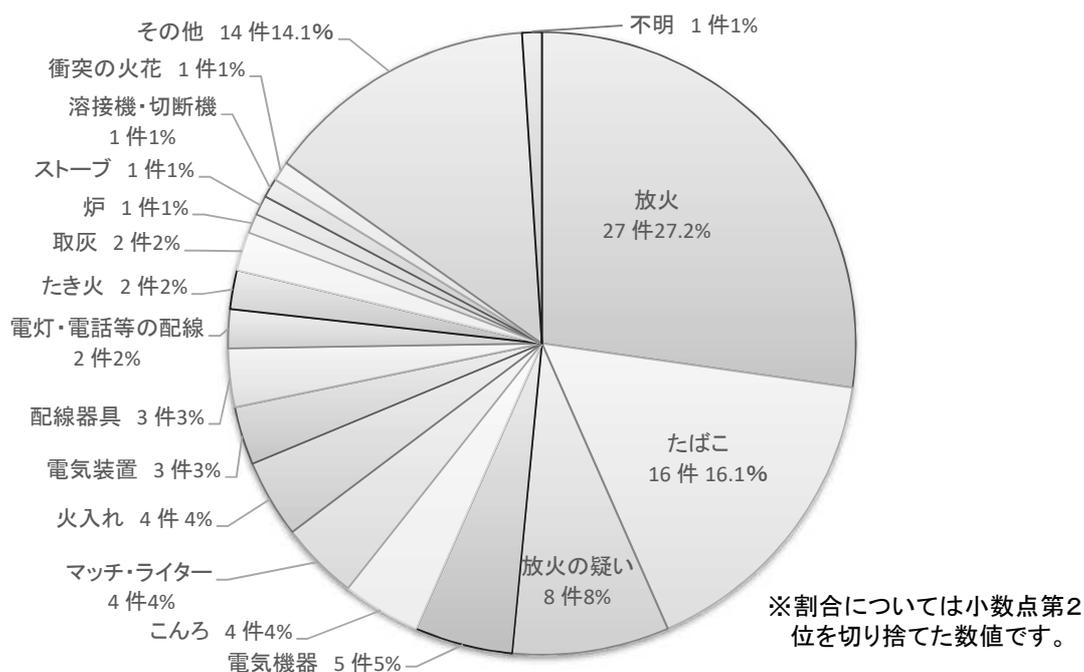
出火原因別火災件数

令和4年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ	3		4	1		2	1	1		1	1	2	16
こんろ	1	1					1				1		4
かまど													0
風呂かまど													0
炉											1		1
焼却炉													0
ストーブ												1	1
こたつ													0
ボイラー													0
排気管													0
電気機器					2				1		1	1	5
電気装置							2	1					3
電灯・電話等の配線	1			1									2
内燃機関													0
配線器具							1		1			1	3
火遊び													0
マッチ・ライター	1	1		1					1				4
たき火	1							1					2
溶接機・切断機									1				1
灯火													0
衝突の火花				1									1
取灰	1									1			2
火入れ	2		1						1				4
放火	1	2	5		2	3	1	3	2	3	3	2	27
放火の疑い	1	1			1		1	1	1	1		1	8
その他		1	1	5	2		1	1		2	1		14
不明	1												1
合計	13	6	11	9	7	5	8	8	8	8	8	8	99

※その他とは落雷等、上記項目に該当しないもの。

原因別火災発生状況



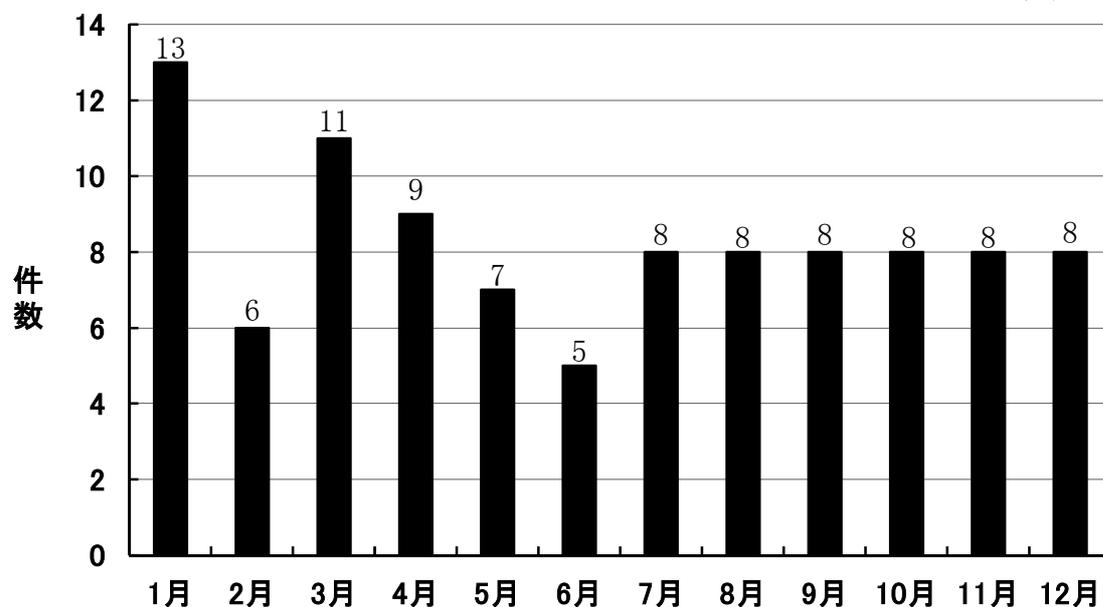
月別火災概況

令和4年中

		単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
火災件数	建物	件	7	3	4	6	6	3	6	5	3	6	4	4	57	
	林野															0
	車両			1	2	2	1		1	1	2	1	1			12
	船舶															0
	航空機															0
	その他		6	2	5	1		2	1	2	3	1	3	4		30
	合計		13	6	11	9	7	5	8	8	8	8	8	8	8	99
建物	焼損床面積	㎡	338	65	53	253				46	51	14	74	25	919	
	焼損表面積		68	67	8	112	128		29	16	27	1		203	659	
死傷者	死者	人	4	1	1				2	1			1	1	11	
	負傷者		5	2						1	1		1		10	
	合計		9	3	1				2	2	1		2	1	21	
り災世帯	世帯	15	9	4	6	5	1	3	6	4	4	2	2	61		
り災人員	人	37	19	10	15	12	1	4	13	5	8	7	2	133		

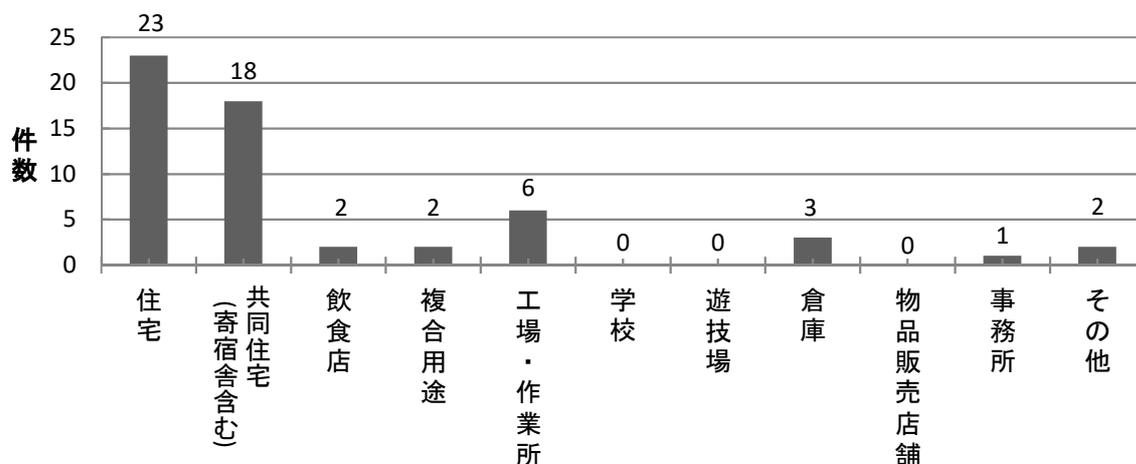
月別火災件数

令和4年中



建物用途別火災件数

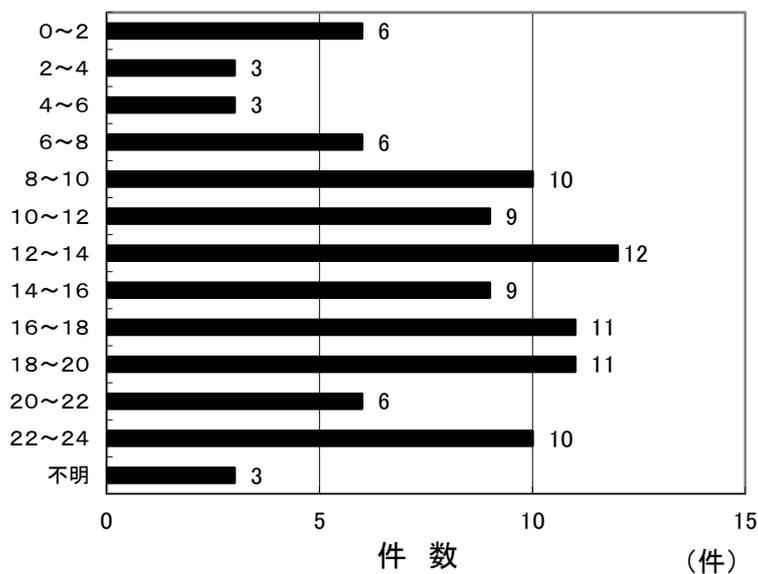
令和4年中



(時)

時間別火災発生件数

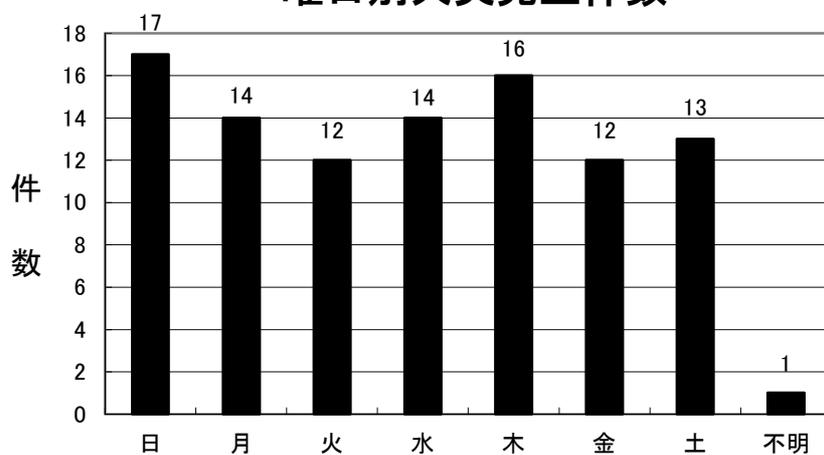
令和4年中



時間	件数
0~2	6
2~4	3
4~6	3
6~8	6
8~10	10
10~12	9
12~14	12
14~16	9
16~18	11
18~20	11
20~22	6
22~24	10
不明	3
合計	99

曜日別火災発生件数

令和4年中



曜日	件数
日	17
月	14
火	12
水	14
木	16
金	12
土	13
不明	1
合計	99

救急・救助

令和4年中の救急・救助の概要

1 救急の概要

令和4年中の救急出場件数は、20,522件(前年17,043件)、搬送人員16,562人(前年14,115人)で、前年に比較し救急出場件数は3479件(20.4%)、搬送人員は2447人(17.3%)増加しています。

また、一日の平均出場件数は56.2件(前年46.7件)で、約25.6分に1回(前年30.8分に1回)の割合で出場し、住民22.5人に1人(前年26.4人に1人)が搬送されたこととなります。

(1) 事故種別の状況

事故種別の構成比は、急病が全体の69.5%(14,262件)で、最も高い比率を占めている。次いで、一般負傷13.2%(2,718件)、その他7.0%(1,442件)となっており、11種類に分類される救急事故の中で、急病と一般負傷が全体の82.7%を占めている。

(2) 署所別の状況

署所別の構成比は、川越中央消防署25.9%(5,325件)、高階分署12.8%(2,620件)、川越北消防署12.2%(2,507件)、名細分署12.0%(2,454件)に次いで大東分署10.9%(2,235件)、次いで川越西消防署、南古谷分署、川島消防署となっており、8署のうち6署で年間出場件数が2,000件を超えている。

(3) 医療機関別搬送人員

医療機関(接骨院等を含む。以下同じ。)へ搬送された傷病者は16,562人で、このうち、73.2%(12,120人)が組合管内11の救急病院へ、2.7%(439人)が組合管内の救急病院以外の医療機関へ、24.2%(4,003人)が組合管外の医療機関へ搬送された。

(4) 時間別救急出場件数

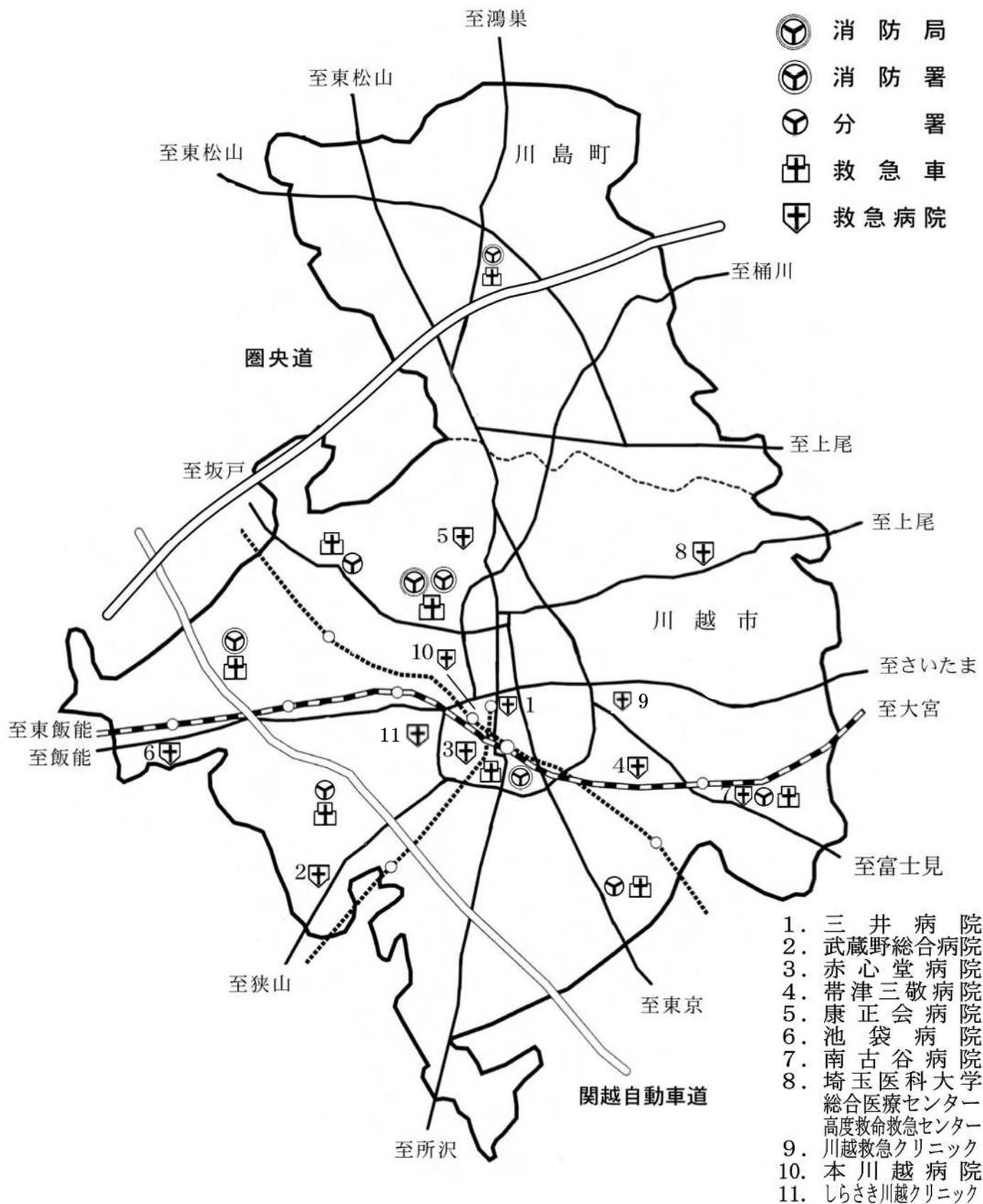
時間別救急出場件数は、10時～12時が2,481件、12時～14時が2,408件、8時～10時が2,271件の順となっている。また、一番少ない時間帯は2時～4時で758件となっている。

2 救助の概要

令和4年中の救助出場件数は262件(前年201件)、救助活動件数は187件(前年152件)で、前年と比較して、出場件数が61件(約30.3%)増加し、救助活動件数が35件(約23.0%)の増加となっている。

救助活動件数の事故種別の構成比は、建物火災が約19.7%(37件)、交通事故が約14.9%(28件)、建物以外の火災が約10.1%(19件)、建物等による事故が約3.2%(6件)、ガス及び酸欠事故が約1.6%(3件)、水難事故が約1.0%(2件)、風水害等自然災害が約0.5%(1件)、その他が約48.6%(91件)となっている。

救急車の配置及び救急病院配置図



救 急 活 動

救急活動の推移（10年間）

各年

出 場 年	搬 送	事 故 種 別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
			災	然	難	通	働	動	般	損	病	の	計	
			災	害	難	事	害	技	傷	害	為	病	他	
H25	出場件数		95	2	11	1,746	153	129	2,039	97	171	9,735	1,562	15,740 〔2,288〕
	搬送人員		20	2	1	1,694	150	129	1,826	71	102	8,384	1,247	13,626
H26	出場件数		71	1	2	1,664	126	138	2,125	106	183	10,076	1,651	16,143 〔2,268〕
	搬送人員		11		1	1,642	122	136	1,898	74	122	8,729	1,294	14,029
H27	出場件数		72		6	1,604	128	148	2,161	101	165	10,471	1,772	16,628 〔2,396〕
	搬送人員		23		2	1,557	124	146	1,931	75	93	9,033	1,396	14,380
H28	出場件数		67	1	5	1,665	168	158	2,233	121	136	10,759	1,802	17,115 〔2,394〕
	搬送人員		11	1	4	1,643	165	154	1,989	90	91	9,365	1,375	14,888
H29	出場件数		62	1	6	1,678	148	141	2,299	109	147	10,976	2,045	17,612 〔2,495〕
	搬送人員		16		2	1,654	145	140	2,046	77	90	9,598	1,535	15,303
H30	出場件数		47	1	7	1,662	176	158	2,416	110	151	11,445	2,063	18,236 〔2,744〕
	搬送人員		18	1		1,535	172	145	2,164	71	94	9,972	1,475	15,647
R元	出場件数		72	5	4	1,531	169	133	2,446	94	158	11,411	2,095	18,118 〔2,784〕
	搬送人員		13	2	1	1,448	166	129	2,199	62	93	9,977	1,383	15,473
R2	出場件数		49		5	1,227	165	78	2,335	84	158	10,203	1,922	16,226 〔2,684〕
	搬送人員		16			1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633
R3	出場件数		73		2	1,294	173	100	2,339	68	169	10,932	1,893	17,043 〔3,025〕
	搬送人員		8			1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115
R4	出場件数		98		4	1,299	212	147	2,718	95	245	14,262	1,442	20,522 〔4,056〕
	搬送人員		9			1,130	200	147	2,363	50	138	11,209	1,316	16,562

※ []は不搬送件数

月別救急活動の状況

令和4年中

出 場 月	搬 送	事故種別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計	
		災	害	難	事	害	技	傷	害	為		他		
1月	出場件数	15			89	12	4	245	3	16	1,164	142	1,690	
	搬送人員	5			76	11	4	220	1	11	919	122	1,369	
2月	出場件数	6			104	11	4	201	5	20	1,031	122	1,504	
	搬送人員	1			90	10	4	175	2	12	809	102	1,205	
3月	出場件数	9		1	96	11	5	210	10	29	1,040	130	1,541	
	搬送人員				86	10	5	187	3	14	837	121	1,263	
4月	出場件数	14			97	13	8	179	10	12	1,000	104	1,437	
	搬送人員				76	12	8	154	7	8	842	99	1,206	
5月	出場件数	5			113	13	28	220	7	27	1,084	123	1,620	
	搬送人員				96	11	27	191	4	16	894	117	1,356	
6月	出場件数	2			119	33	19	212	11	24	1,118	117	1,655	
	搬送人員				109	33	20	183	8	17	891	107	1,368	
7月	出場件数	11		2	97	28	21	228	6	17	1,594	121	2,125	
	搬送人員				76	26	21	194	3	11	1,242	117	1,690	
8月	出場件数	7		1	118	22	12	223	5	14	1,389	109	1,900	
	搬送人員	1			108	21	12	182	3	7	1,024	102	1,460	
9月	出場件数	10			113	22	9	199	10	29	1,145	100	1,637	
	搬送人員	1			93	21	9	174	6	12	868	95	1,279	
10月	出場件数	3			114	14	14	263	11	19	1,101	107	1,646	
	搬送人員				102	14	14	232	2	10	894	94	1,362	
11月	出場件数	9			106	19	13	257	8	20	1,145	130	1,707	
	搬送人員	1			105	18	13	224	3	11	896	115	1,386	
12月	出場件数	7			133	14	10	281	9	18	1,451	137	2,060	
	搬送人員				113	13	10	247	8	9	1,093	125	1,618	
合計	出場件数	98	0	4	1,299	212	147	2,718	95	245	14,262	1,442	20,522	
	搬送人員	9	0	0	1,130	200	147	2,363	50	138	11,209	1,316	16,562	

事故種別傷病程度別搬送人員

令和4年中

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				2	1		6		15	244		268
重 症				33	11	4	101	1	22	831	235	1,238
中 等 症	2			159	60	26	718	3	54	4479	951	6,452
軽 症	7			936	128	117	1538	46	47	5652	130	8,601
そ の 他										3		3
合 計	9	0	0	1,130	200	147	2,363	50	138	11,209	1,316	16,562

※ 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
- 2 重 症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 3 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 4 軽 症 傷病の程度が入院を必要としないもの
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

事故種別年齢区分別搬送人員

令和4年中

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児										11	68	79
乳 幼 児				28			173	2		591	20	814
少 年				95	1	75	73	4	11	340	21	620
成 人	5			695	166	68	403	34	103	3438	369	5,281
高 齢 者	4			312	33	4	1714	10	24	6829	838	9,768
合 計	9	0	0	1,130	200	147	2,363	50	138	11,209	1,316	16,562

※ 年齢区分は、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

署所別救急活動の状況

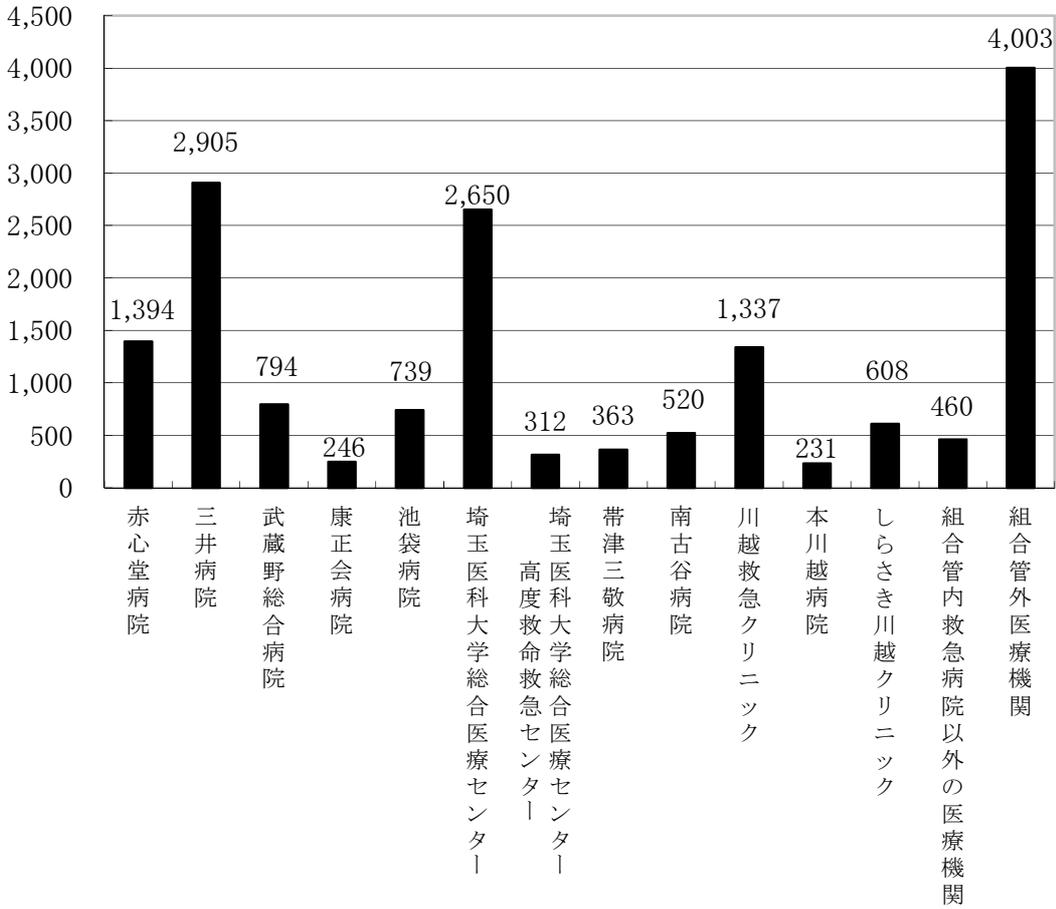
令和4年中

署所	出場 搬送	事故種別											その他	合計
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病			
川越北消防署	出場件数	17			201	23	20	328	9	32	1,642	235	2,507	
	搬送人員	4			161	22	20	273	5	19	1,210	208	1,922	
南古谷分署	出場件数	7			128	15	14	225	7	16	1,319	233	1,964	
	搬送人員				116	15	14	201	6	10	1,129	218	1,709	
川越中央消防署	出場件数	21		1	327	63	28	686	34	79	3,727	359	5,325	
	搬送人員				285	60	28	589	14	44	2,828	329	4,177	
高階分署	出場件数	10			143	15	16	357	16	34	1,913	116	2,620	
	搬送人員	2			116	15	17	316	8	22	1,485	107	2,088	
大東分署	出場件数	11			145	24	21	312	5	25	1,542	150	2,235	
	搬送人員	1			124	20	21	271	3	13	1,242	130	1,825	
川越西消防署	出場件数	12		1	112	16	16	326	8	23	1,572	123	2,209	
	搬送人員	1			105	16	16	289	5	13	1,239	120	1,804	
名細分署	出場件数	8		1	138	28	19	339	13	25	1,745	138	2,454	
	搬送人員	1			129	28	18	302	8	11	1,415	133	2,045	
川島消防署	出場件数	12		1	105	28	13	145	3	11	802	88	1,208	
	搬送人員				94	24	13	122	1	6	661	71	992	
合計	出場件数	98	0	4	1,299	212	147	2,718	95	245	14,262	1,442	20,522	
	搬送人員	9	0	0	1,130	200	147	2,363	50	138	11,209	1,316	16,562	

医療機関別搬送人員

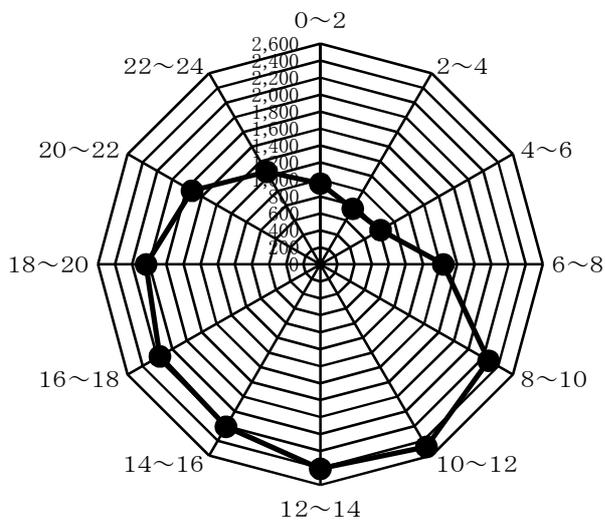
(単位:人)

令和4年中



時間別救急出場件数

令和4年中



時間	救急件数
0~2	952
2~4	758
4~6	810
6~8	1,438
8~10	2,271
10~12	2,481
12~14	2,408
14~16	2,206
16~18	2,166
18~20	2,038
20~22	1,735
22~24	1,259

救命講習実施状況

各年度中

区分 年度	普通救命講習		上級救命講習		合 計	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平成30年度	175	3,130	11	214	186	3,344
令和元年度	165	2,866	6	145	171	3,011
令和2年度	25	441	0	0	25	441
令和3年度	83	1,233	0	0	83	1,233
令和4年度	131	1,723	3	35	134	1,758

救急講習指導状況

各年度中

区分 年度	救急講習		救命入門コース		合 計	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平成30年度	249	12,872	49	1,076	298	13,948
令和元年度	190	12,748	31	872	221	13,620
令和2年度	11	341	4	162	15	503
令和3年度	60	1,266	8	228	68	1,494
令和4年度	113	4,584	23	448	136	5,032

救 助 活 動

事故種別出場件数、活動件数及び救助人員

令和4年中

区分	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
	建物	建物 以外										
出場件数	37	19	41	3	1	1	6	4			150	262
活動件数	37	19	28	2	1		6	3			91	187
救助人員	10	1	28	2	1		6	2			66	116

事故種別発生場所別救助人員

令和4年中

発生区分	事故種別		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計	
	建物	建物 以外										
屋内	住居	10					4	1		49	64	
	その他の屋内						2			6	8	
屋路	道 高速自動車国道		2								2	
	その他の道路		22		1			1		2	26	
外	水 内 水面			2							2	
	外 水面										0	
	山 岳										0	
	その他の屋外		1	4						9	14	
地 下											0	
そ の 他											0	
合 計		10	1	28	2	1	0	6	2	0	66	116

消 防 団

消防団分団区域図



川越市消防団分団の名称及び受持区域

名 称	区 域
第 一 分 団	石原町一丁目、石原町二丁目、大手町、御成町、喜多町、久保町、郭町一丁目、郭町二丁目、小仙波町一丁目、小仙波町二丁目、小仙波町三丁目、小仙波町四丁目、小仙波町五丁目、幸町、三久保町、志多町、城下町、神明町、末広町一丁目、末広町二丁目、末広町三丁目、間屋町、西小仙波町一丁目、西小仙波町二丁目、氷川町、松江町一丁目、松江町二丁目、宮下町一丁目、宮下町二丁目、宮元町、元町一丁目、元町二丁目、大字川越、大字小仙波、大字寺井、大字東明寺、大字松郷
第 二 分 団	岸町一丁目、三光町、新富町一丁目、新富町二丁目、菅原町、仙波町一丁目、仙波町二丁目、仙波町三丁目、仙波町四丁目、月吉町、通町、中原町一丁目、中原町二丁目、仲町、富士見町、南通町、連雀町、六軒町一丁目、六軒町二丁目、脇田町、大字大仙波
第 三 分 団	旭町一丁目、旭町二丁目、旭町三丁目、新宿町一丁目、新宿町二丁目、新宿町三丁目、新宿町四丁目、新宿町五丁目、新宿町六丁目、今成一丁目、今成二丁目、今成三丁目、今成四丁目、大塚二丁目の一部(二二番一から二二番一六まで、二二番三四から二二番三七まで、二四番一から二四番一四まで、二四番一八から二四番二〇まで、二五番一から二五番八まで、二五番一九から二五番二四まで、二七番一八、二七番二〇から二七番二五まで、二七番二七、二七番二九、一〇〇番一〇一、一〇〇番一〇二、一〇〇番一一四、一〇〇番一二五、一〇〇番一七一、一〇〇番一七二、一〇〇番二〇七から一〇〇番二一〇まで、一〇四番一八及び一〇四番一九)、上野田町、岸町二丁目、岸町三丁目、広栄町、田町、中台一丁目の一部(一番から五番まで、九番五、一〇〇番一から一〇〇番一七まで、一〇〇番一六、一〇〇番二〇、一〇〇番三〇及び一〇〇番三七から一〇〇番三九まで)、中台元町二丁目の一部(一番、二番一から二番一〇まで、二番一二から二番一五まで、二番一七、二番二二から二番二四まで、三番一、三番二、三番五、三番六、三番二一、三番二二、一〇〇番一から一〇〇番五まで及び一〇〇番九)、野田町一丁目、野田町二丁目、東田町、むさし野の一部(一番一から一番八まで、三番一七から三番二四まで、四番一から四番三まで、四番一七から四番二〇まで、一〇〇番八及び一〇〇番一九から一〇〇番二三まで)、脇田新町、脇田本町、大字小ヶ谷、大字大仙波新田、大字岸、大字小室、大字野田
芳 野 分 団	川越市芳野市民センターの所管区域
古 谷 分 団	川越市古谷市民センターの所管区域
南古谷分団	川越市南古谷市民センターの所管区域
高 階 分 団	川越市高階市民センターの所管区域
福 原 分 団	川越市福原市民センターの所管区域
大 東 分 団	川越市大東市民センターの所管区域
山 田 分 団	川越市山田市民センターの所管区域
名 細 分 団	川越市名細市民センターの所管区域及び川鶴市民センター所管区域の一部(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目)
霞ヶ関分団	川越市霞ヶ関市民センターの所管区域、川鶴市民センターの所管区域(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目を除く。)及び霞ヶ関北市民センターの所管区域

川島町消防団分団の名称及び受持区域

名 称	区 域
第 一 分 団	大字中山、大字南園部、大字吹塚、大字北園部、大字正直、大字戸守、大字長楽、八幡一丁目、八幡二丁目、八幡三丁目、八幡四丁目、八幡五丁目、八幡六丁目、かわじま一丁目、かわじま二丁目
第 二 分 団	大字上伊草、大字伊草、大字下伊草、大字角泉、大字安塚、大字飯島
第 三 分 団	大字平沼、大字白井沼、大字紫竹、大字宮前、大字上貉、大字下貉、大字釘無、大字新堀、大字吉原、大字表
第 四 分 団	大字出丸下郷、大字西谷、大字曲師、大字出丸本、大字上大屋敷、大字下大屋敷、大字出丸中郷
第 五 分 団	大字上八ツ林、大字下八ツ林、大字畑中、大字三保谷宿、大字牛ヶ谷戸、大字山ヶ谷戸、大字東野、大字東大塚
第 六 分 団	大字虫塚、大字梅ノ木、大字上小見野、大字下小見野、大字加胡、大字松永、大字谷中、大字鳥羽井、大字一本木、大字芝沼、大字鳥羽井新田、大字東部

消防団員の実員数

(1) 階級別

令和5年4月1日現在

階級 区分		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
		川越市	定数	1	4	13	13	13	26
実員	1		4	13	13	13	26	189	259
川島町	定数	1	2	6	6	7	13	94	129
	実員	1	2	6	6	7	13	80	115

(2) 川越市消防団本部分団別実員数

令和5年4月1日現在

階級 所属		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部		1	4	1	1	1	2	15	25
第一分団				1	1	1	2	17	22
第二分団				1	1	1	2	17	22
第三分団				1	1	1	2	20	25
芳野分団				1	1	1	2	20	25
古谷分団				1	1	1	2	17	22
南古谷分団				1	1	1	2	15	20
高階分団				1	1	1	2	10	15
福原分団				1	1	1	2	7	12
大東分団				1	1	1	2	13	18
山田分団				1	1	1	2	17	22
名細分団				1	1	1	2	12	17
霞ヶ関分団				1	1	1	2	9	14
合計		1	4	13	13	13	26	189	259

(3) 川島町消防団本部分団別実員数

令和5年4月1日現在

階級 所属		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部		1	2			1	1	6	11
第一分団				1	1	1	2	11	16
第二分団				1	1	1	2	13	18
第三分団				1	1	1	2	13	18
第四分団				1	1	1	2	11	16
第五分団				1	1	1	2	13	18
第六分団				1	1	1	2	13	18
合計		1	2	6	6	7	13	80	115

分団別人口世帯の状況

(1) 川越市消防団

令和5年4月1日現在

所属 人口等	定員	人口	世帯数	団員1人当り	
				人口	世帯数
団本部	30				
第一分団	25	27,840	13,046	1,114	522
第二分団	25	31,468	16,920	1,259	677
第三分団	25	46,387	22,997	1,855	920
芳野分団	25	5,408	2,226	216	89
古谷分団	25	10,189	4,483	408	179
南古谷分団	25	25,152	10,913	1,006	437
高階分団	25	53,542	26,082	2,142	1,043
福原分団	25	20,982	9,106	839	364
大東分団	25	35,185	15,952	1,407	638
山田分団	25	11,889	5,109	476	204
名細分団	25	32,708	15,334	1,308	613
霞ヶ関分団	25	52,236	24,194	2,089	968
合計	330	352,986	166,362	1,070	504

(2) 川島町消防団

令和5年4月1日現在

所属 人口等	定員	人口	世帯数	団員1人当り	
				人口	世帯数
団本部	15				
第一分団	19	6,453	2,835	340	149
第二分団	19	5,945	2,629	313	138
第三分団	19	1,802	753	95	40
第四分団	19	1,375	534	72	28
第五分団	19	1,894	808	100	43
第六分団	19	1,643	655	86	34
合計	129	19,112	8,214	148	64

消防団員の勤続年数

(1) 川越市消防団

令和5年4月1日現在

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満						3	63	66
5年以上10年未満			1	2	4	3	43	53
10年以上15年未満		1	4	5	2	7	33	52
15年以上20年未満			4	3	5	10	28	50
20年以上25年未満		1	3	2	2	1	6	15
25年以上30年未満		1	1	1		2	12	17
30年以上	1	1					4	6
合 計	1	4	13	13	13	26	189	259

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和5年4月1日現在

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満							24	24
5年以上10年未満						3	22	25
10年以上15年未満					2	2	13	17
15年以上20年未満			2	2	3	5	7	19
20年以上25年未満		1	2	2	1	2	8	16
25年以上30年未満		1	1	2	1	1	6	12
30年以上	1		1					2
合 計	1	2	6	6	7	13	80	115

(単位:人)

消防団員の年齢

(1) 川越市消防団

令和5年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳以上～20歳未満							3	3
20歳以上～25歳未満							10	10
25歳以上～30歳未満						1	8	9
30歳以上～35歳未満			1	1	1	3	24	30
35歳以上～40歳未満				2	2	4	31	39
40歳以上～45歳未満		1	4	2	2	5	35	49
45歳以上～50歳未満			3	3	3	7	42	58
50歳以上～55歳未満		2	2	5	4	4	20	37
55歳以上～60歳未満		1	2			1	7	11
60歳以上～65歳未満	1		1		1	1	6	10
65歳以上							3	3
合 計	1	4	13	13	13	26	189	259

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和5年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳以上～20歳未満								0
20歳以上～25歳未満							5	5
25歳以上～30歳未満							4	4
30歳以上～35歳未満							17	17
35歳以上～40歳未満						3	16	19
40歳以上～45歳未満			1	1	1	2	13	18
45歳以上～50歳未満		2	3	3	4	7	14	33
50歳以上～55歳未満			2	2	1		9	14
55歳以上～60歳未満	1				1	1	1	4
60歳以上～65歳未満							1	1
65歳以上								0
合 計	1	2	6	6	7	13	80	115

(単位:人)

消防団員の報酬等

(1) 年 額 報 酬

令和5年4月1日現在

階級 内訳	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
支 給 額	206,000	174,000	151,000	123,000	107,000	89,000	69,000

※機関係員には、年額11,000円の報酬を加給する。

(単位:円)

(2) 出 動 報 酬

令和5年4月1日現在

区 分	支給単位	金 額
災 害 の 場 合	1 回 に つ き	4,000
警 戒 、 訓 練 等 の 場 合	1 回 に つ き	2,000
行 事 及 び 会 議 の 場 合	1 回 に つ き	1,000

※災害の場合の1回の従事時間が4時間を超える場合はその超過時間までごとに4,000円を加給する。(単位:円)

※災害の場合4時間以内に2回以上従事した場合は、1回とみなす。

(3) 費 用 弁 償

令和5年4月1日現在

住居等から団本部または分団車庫までの片道の距離	1回につき
2キロメートル以上4キロメートル未満	130
4キロメートル以上6キロメートル未満	160
6キロメートル以上8キロメートル未満	210
8キロメートル以上10キロメートル未満	270
10キロメートル以上	320

(単位:円)

(4) 退 職 報 償 金

令和5年4月1日現在

階級 勤続年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
5 年 以 上 1 0 年 未 満	239,000	229,000	219,000	214,000	204,000		200,000
1 0 年 以 上 1 5 年 未 満	344,000	329,000	318,000	303,000	283,000		264,000
1 5 年 以 上 2 0 年 未 満	459,000	429,000	413,000	388,000	358,000		334,000
2 0 年 以 上 2 5 年 未 満	594,000	534,000	513,000	478,000	438,000		409,000
2 5 年 以 上 3 0 年 未 満	779,000	709,000	659,000	624,000	564,000		519,000
3 0 年 以 上	979,000	909,000	849,000	809,000	734,000		689,000

(単位:円)

分団別火災出場の状況

(1) 川越市消防団

令和4年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団	1	1	3	3	1		2		1		2	1	15
第二分団	1	2	1	3	1		1		3		2	1	15
第三分団	1	1	1	3	2		2		1		2	1	14
芳野分団	2		1				2					1	6
古谷分団	2		2				2						6
南古谷分団		1	1		1		1	2	1				7
高階分団		2		1		1	1	2	1	1			9
福原分団	3	3	1			2		2	3	2			16
大東分団	5	2	1	1		1	1	1	1		1	1	15
山田分団	2						2	1				1	6
名細分団	3	1	1		1		2	2		1	1	4	16
霞ヶ関分団	3	1	2		1	1	2	1	1		3	2	17
合計	23	14	14	11	7	5	18	11	12	4	11	12	142

出場延人員 649人

(単位:回)

(2) 川島町消防団

令和4年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団	2			1				1			1		5
第二分団	2			1				1					4
第三分団	2			1				1					4
第四分団	2			1				1			1		5
第五分団	2							1					3
第六分団	2			1				1					4
合計	12	0	0	5	0	0	0	6	0	0	2	0	25

出場延人員 135人

(単位:回)

分団車庫所在地

(1) 川越市消防団

令和5年4月1日現在

分 団	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第 一 分 団	小仙波町1-2-15	鉄筋コンクリート造2階建	174.56	91.80	H 7. 3.31
第 二 分 団	三光町2-8	鉄筋コンクリート造2階建	170.00	109.78	H11. 3.15
第 三 分 団	野田町1-3-8	鉄骨造2階建	319.17	104.52	H 3. 3.30
芳 野 分 団	大字鴨田9-1	鉄骨造平屋建	750.00	104.00	H17.3.25
古 谷 分 団	大字古谷上3831-1	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建	187.70	99.40	H 7. 3.31
南古谷分団	大字今泉307-2	木造平屋建	252.79	103.10	H19. 3. 1
高 階 分 団	大字藤間346-1	鉄骨造2階建	172.29	112.00	H16. 2.20
福 原 分 団	大字今福1785-5	鉄筋コンクリート造2階建	232.38	99.22	H25. 3.14
大 東 分 団	南大塚1-14-20	鉄骨造2階建	352.96	84.20	H元. 3.11
山 田 分 団	大字山田167	鉄骨造2階建	245.57	112.00	H15. 3.14
名 細 分 団	大字小堤644-3	鉄骨造平屋建	482.00	100.00	H20. 3.26
霞ヶ関分団	大字笠幡2365-1	鉄骨造平屋建	721.83	100.00	H18. 3.28

(2) 川島町消防団

令和5年4月1日現在

分 団	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第 一 分 団	大字吹塚737-1	鉄骨造平屋建	332.57	60.30	H 7. 2.27
第 二 分 団	大字伊草184	鉄骨造平屋建	172.97	52.03	H 4. 1.31
第 三 分 団	大字白井沼880	鉄骨造平屋建	306.00	89.43	H19. 3.15
第 四 分 団	大字上大屋敷144-1	鉄骨造2階建	140.95	85.66	H13. 3.28
第 五 分 団	大字畑中344-1	鉄骨造2階建	146.89	88.90	H15. 3.31
第 六 分 団	大字下小見野277-1	鉄骨造平屋建	299.86	89.43	H17. 2. 3

消防自動車性能

(1)川越市消防団

令和5年4月1日現在

所 属	車名及び年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団 本 部	トヨタR1年	1,980	川越830て 119	—	R1.9.30
	スズキH26年	658	川越880あ 303	B-2	H26.12.25
第 一 分 団	いすゞH24年	2,990	川越800さ1318	A-2	H24.2.3
第 二 分 団	日野H24年	4,009	川越800さ1508	A-2	H24.12.17
第 三 分 団	日野H26年	4,009	川越800さ1946	A-2	H26.12.8
芳 野 分 団	日野H23年	4,009	川越800さ1101	A-2	H23.1.28
古 谷 分 団	日野H25年	4,009	川越800さ1768	A-2	H25.12.9
南古谷分団	三菱H20年	4,890	川越800さ 448	A-2	H20.1.31
高 階 分 団	いすゞH21年	2,990	川越800さ 681	A-2	H21.1.30
福 原 分 団	日野H28年	4,009	川越800さ2448	A-2	H28.12.7
大 東 分 団	日野H19年	4,009	川越830そ 119	A-2	H19.1.24
山 田 分 団	日野H25年	4,009	川越800さ1769	A-2	H25.12.9
名 細 分 団	日野H26年	4,009	川越800さ1947	A-2	H26.12.8
霞ヶ関分団	日野R4年	4,009	川越800さ3792	A-2	R4.12.15

(2)川島町消防団

令和5年4月1日現在

所 属	車名及び年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団 本 部	三菱H21年	2,350	熊谷800す2124	—	H21.1.29
第 一 分 団	日野H22年	4,009	熊谷800す2676	A-2	H22.1.26
第 二 分 団	日野R2年	4,009	熊谷800す8375	A-2	R2.12.8
第 三 分 団	日野H23年	4,009	熊谷800す3189	A-2	H23.1.28
第 四 分 団	三菱H20年	4,890	熊谷800す1434	A-2	H20.1.31
第 五 分 団	日野H21年	4,009	熊谷800す2122	A-2	H21.1.30
第 六 分 団	日野H19年	4,009	熊谷800す 613	A-2	H19.1.24

※A-2 毎分2.0m³～2.8m³未満の放水ができるもの

※B-2 毎分1.0m³～1.5m³未満の放水ができるもの

川越市消防団専用無線設備の状況

令和5年4月1日現在

移動局	電波の種類	出力	通信方式	
32	消防団波 市町村波	デジタル移動局	単信方式	
		・車両積載		5W
		・可搬型		5W
		・団長・副団長携帯		2W
		・分団長携帯	2W	

所属	呼出名称	備考	
団本部	かわごえだんほんぶ	1	可搬型
	※ かわごえだんしき	1	車両積載
	かわごえだんせきさい	1	車両積載
	※ かわごえだん	201	団長携帯
	※ かわごえだん	202	副団長携帯
	※ かわごえだん	203	副団長携帯
	※ かわごえだん	204	副団長携帯
	※ かわごえだん	205	副団長携帯
第一分団	かわごえいちぶんだん	1	車両積載
	かわごえいちぶんだん	101	分団長携帯
第二分団	かわごえにぶんだん	1	車両積載
	かわごえにぶんだん	101	分団長携帯
第三分団	かわごえさんぶんだん	1	車両積載
	かわごえさんぶんだん	101	分団長携帯
芳野分団	よしのぶんだん	1	車両積載
	よしのぶんだん	101	分団長携帯
古谷分団	ふるやぶんだん	1	車両積載
	ふるやぶんだん	101	分団長携帯
南古谷分団	みなみふるやぶんだん	1	車両積載
	みなみふるやぶんだん	101	分団長携帯
高階分団	たかしなぶんだん	1	車両積載
	たかしなぶんだん	101	分団長携帯
福原分団	ふくはらぶんだん	1	車両積載
	ふくはらぶんだん	101	分団長携帯
大東分団	だいてうぶんだん	1	車両積載
	だいてうぶんだん	101	分団長携帯
山田分団	やまだぶんだん	1	車両積載
	やまだぶんだん	101	分団長携帯
名細分団	なぐわしぶんだん	1	車両積載
	なぐわしぶんだん	101	分団長携帯
霞ヶ関分団	かすみがせきぶんだん	1	車両積載
	かすみがせきぶんだん	101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

川島町消防団専用無線設備の状況

令和5年4月1日現在

移動局	電波の種類	出力	通信方式	
18	消防団波 市町村波	デジタル移動局	単信方式	
		・車両積載		5W
		・可搬型		5W
		・団長・副団長携帯		2W
		・分団長携帯	2W	

所属	呼出名称	備考	
団本部	かわじまだんほんぶ	1	可搬型
	かわじまだんほんぶ	2	可搬型
	※ かわじまだんしれい	1	車両積載
	※ かわじまだん	201	団長携帯
	※ かわじまだん	202	副団長携帯
	※ かわじまだん	203	副団長携帯
第一分団	かわじまいちぶんだん	1	車両積載
	かわじまいちぶんだん	101	分団長携帯
第二分団	かわじまにぶんだん	1	車両積載
	かわじまにぶんだん	101	分団長携帯
第三分団	かわじまさんぶんだん	1	車両積載
	かわじまさんぶんだん	101	分団長携帯
第四分団	かわじまよんぶんだん	1	車両積載
	かわじまよんぶんだん	101	分団長携帯
第五分団	かわじまごぶんだん	1	車両積載
	かわじまごぶんだん	101	分団長携帯
第六分団	かわじまろくぶんだん	1	車両積載
	かわじまろくぶんだん	101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

そ の 他

自警消防隊の状況

川 越 市

令和5年4月1日現在

区域 隊数 等	第 三		芳 野		高 階		福 原		大 東		山 田		名 細		合計
	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	
1	小ヶ谷	17	北田島	27	藤間		下赤坂		豊田本	20	上寺山	9	下小坂		
2	今成	20	伊佐沼	16	新河岸	7	下松原		池辺	15	寺山	16			
3			鴨田1	16	砂	21	砂久保	4			福田	16			
4			鴨田2	13			中台	10			北山田				
5			鴨田3	8							南山田	11			
6			石田本郷	18							府川	6			
7			菅間中下	24											
8			菅間上	21											
9			鹿飼	15											
10			老袋	27											
隊数	2		10		3		4		2		6		1		28
人員計	37		185		28		14		35		58		0		357

消 防 年 報

令和5年6月刊行

発行 川越地区消防局 総務課

〒350-0823 埼玉県川越市神明町48番地4

電 話 (049) 222-0741

F A X (049) 226-7291

